

2005 年秋季年会

年会プログラム

於 札幌コンベンションセンター

2005 年 10 月 6 日 (木) ~ 10 月 8 日 (土)

日本天文学会

日本天文学会 2005 年秋季年会プログラム

期 日 2005 年 10 月 6 日 (木) ~ 10 月 8 日 (土)

場 所 札幌コンベンションセンター (北海道札幌市)

電 話 090 - 4387 - 6893 <使用期間 2005 年 10 月 5 日 (水) ~ 10 月 9 日 (日) >

日 程

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
10月5日 (水)								記者会見					
10月6日 (木)	A	A. 中質量BH			昼休み (理事会)	A. 中質量BH			ポスター	P. 星・惑星			
	B	R. 銀河				R. 銀河				R. 銀河			
	C	U. 宇宙論				U. 宇宙論				B. マグネター			
	D	Q. 星間				Q. 星間				Q. 星間			
	E	L. 太陽系				H. 高密度天体				H. 高密度天体			
	F	M. 太陽				M. 太陽				M. 太陽/W. 飛翔観			
	G	Y. 教育・他				V. 地上観				V. 地上観			
10月7日 (金)	A	P. 星・惑星			ポスター	昼休み (評議員会)	P. 星・惑星			天文教育 フォーラム (B会場)	総会 受付終了 (B会場)	懇親会	
	B	R. 銀河					R. 銀河						
	C	C. アーカイブ					N. 恒星						
	D	T. 銀河団					T. 銀河団						
	E	H. 高密度天体					H. 高密度天体						
	F	W. 飛翔観					W. 飛翔観						
	G	V. 地上観					V. 地上観						
10月8日 (土)	A	P. 星・惑星			ポスター	昼休み	P. 星・惑星						
	B	R. 銀河					R. 銀河						
	C	N. 恒星					N. 恒星						
	D	S. 銀河核					S. 銀河核						
	E	H. 高密度天体					H. 高密度天体						
	F	W. 飛翔観					W. 飛翔観						
	G	V. 地上観					V. 地上観						
10月9日 (日)								公開講演会					
		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	

A 会場 : 小ホール 2F
 B 会場 : 204 会議室 2F
 C 会場 : 201, 202 会議室 2F
 D 会場 : 206 会議室 2F
 E 会場 : 207 会議室 2F
 F 会場 : 107 会議室 1F
 G 会場 : 108 会議室 1F

受 付 : 102 会議室 1F
 ポスター会場 1 : 中ホール 1F
 ポスター会場 2 : 104, 105 会議室 1F
 会議室 1 : 103 会議室 1F
 会議室 2 : 106 会議室 1F
 懇親会会場 : ビアケラー札幌開拓使

◎講演数

講演数：合計 752

(口頭講演 (a)：427、ポスター講演 (b)：272、ポスター講演 (c)：53)

◎参加登録について (参加者は、当日必ず参加登録をして下さい。)

○参加費用

	会 員	非会員
参 加 費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み)
(但し会員で講演有りの場合、参加費は無料)		
講 演 登 録 費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み) (1 講演につき)
年 会 予 稿 集	2,000 円 (消費税込み)	2,000 円 (消費税込み) (購入希望者のみ)

○参加登録受付場所：受付 (102 会議室)

○参加登録受付時間：8 時 30 分～16 時 00 分 (初日は、9 時 00 分～)

※参加費・講演登録費は、会期中に受付にて忘れずにご納付下さい。

※領収書が必要な方は、参加費用支払い時にお申し出下さい。

※講演登録者は、講演申し込み後にキャンセル等しても、講演登録費を支払う必要があります。

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は 7 会場で併行して行います。口頭講演 (添字 a) は、口頭発表 9 分、質疑応答 3 分です。ポスター講演 (添字 b) は、口頭発表 3 分、3 講演で 12 分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表 (添字 b)、(添字 c) は、3 日間掲示できます。ポスターは縦 180 × 横 90 cm まで掲示できます。ポスター会場の指定された場所に、10 月 6 日の 9：30 から 10 月 8 日の 13：30 まで掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。
3. 講演には OHP または液晶プロジェクターをご使用下さい。液晶プロジェクターの使用に際しては、セッション開始迄に接続を確認し、念のため OHP での発表もできるようにしておいてください。講演時間は、直前の講演者が降壇した時点から計り始めます。迅速に講演が始められるよう、液晶プロジェクターを使用される方は、事前に PC をケーブルにつないでおいてください。

◎会期中の行事

- | | | |
|----------------------------------|---------------------|----------------------------|
| 1. 記者会見 | : 5日(水) 14:00～15:00 | 「かでの2・7」
(北海道立道民活動センター) |
| 年会講演の中から、数件のトピックスを選び、記者会見を行います。 | | |
| 2. 理事会 | : 6日(木) 12:00～13:00 | 会議室1 |
| 3. 評議員会 | : 7日(金) 12:30～13:30 | 会議室1 |
| 4. 天文教育フォーラム | : 7日(金) 15:30～16:30 | B会場 |
| 5. 総会 | : 7日(金) 16:30～18:00 | B会場 |
| (16:30～17:00 総会出席者確認、17:00 総会開始) | | |
| 主な議題 = ○2006年度事業計画書 | | |
| ○2006年度収支予算書 | | |
| 6. 懇親会 | : 7日(金) 18:30～ | ビアケラー札幌開拓使 |
| 7. 公開講演会 | : 9日(日) 14:00～17:00 | 札幌コンベンションセンター |

◎天文教育フォーラム

共 催：天文教育普及研究会

テ ー マ：「就職：採用する側とされる側のミスマッチ ―こんな人材がほしい 2」

日 時：2005年10月7日（金）15：30～16：30

場 所：B会場

概 要：天文学会の研究者人口調査からもわかるように、若手研究者の人口が急激に増加しており、研究職への就職はとてきびしくなっています。いま中堅の世代も昔きびしい就職難を経験しており、その中で、それまで天文学者のいなかった教育系や私立大学などの職を切り開き、活躍している人々がいます。また、独立法人化の中で、これまで純粋な研究職と思われていた組織でもその研究環境と duty に変化を求められています。したがって新任人事を採用する側からみたら、研究しかできない、研究にしか興味がないという人は理想的な候補ではありません。では研究能力以外には、どのような能力が求められているのでしょうか。またそれは何故なのでしょう。研究職が社会から求められている役割は？今回は主要な研究機関の方々に基調講演をお願いしています。

講 演 者：大学での教育・研究をとりまく環境 須藤 靖（東京大学）
一般研究とプロジェクト研究の人材 松岡 勝（JAXA）
これからの天文学と若手研究者 海部宣男（国立天文台）

司 会 者：福江 純（大阪教育大学）

実 行 委 員：坪井陽子（中央大学）、山縣朋彦（文教大学）、岡崎敦男（北海学園大学）、沢 武文（愛知教育大学）

連 絡 先：坪井陽子 tsuboi@phys.chuo-u.ac.jp

◎日本天文学会公開講演会

共 催：（財）札幌国際プラザ

後 援：北海道教育委員会、札幌市教育委員会、
札幌市青少年科学館（（財）札幌市生涯学習振興財団）、
北海道新聞、朝日新聞北海道支社、読売新聞北海道支社、
NHK 札幌放送局、北海道放送、STV（札幌テレビ放送）

テ ー マ：「アインシュタインと宇宙―宇宙から時間空間はどうわかるか」

― 世界物理年特別企画 アインシュタイン 100 年：相対論と天文学 ―

日 時：2005年10月9日（日）14：00～17：00（開場 13：30）

場 所：札幌コンベンションセンター

対 象：中学生以上・一般向け

講 演 I：「宇宙の膨張を測る」
講 演 者：土居 守（東京大学・助教授）

講 演 II：「世界物理年 2005」
講 演 者：佐藤文隆（甲南大学・教授、京都大学名誉教授）

※入場無料、事前の参加申し込みは不要です。当日ご自由においで下さい。

秋季年会会場（札幌コンベンションセンター）のご案内

札幌コンベンションセンターは、札幌の中心「大通」から地下鉄東西線で3駅目に当たる「東札幌」にあります。

会場周辺の詳細図：東札幌駅から徒歩8分



札幌中心部の地図

交通案内

会場アクセスに関するホームページ <http://www.sora-scc.jp/access/access.htm>

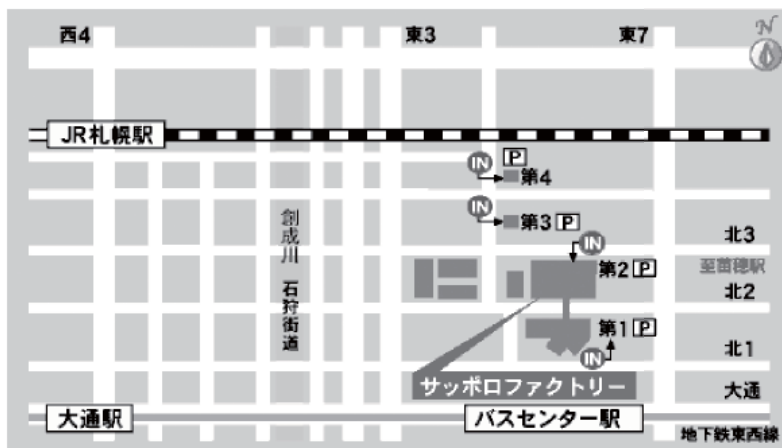
●新千歳空港から

J R 快速エアポートで新札幌駅下車(約28分)。地下鉄新札幌駅から東西線宮の沢行、東札幌駅下車(約13分)。または、空港連絡バス大谷地行で地下鉄大谷地駅まで行き(約40分)、東西線宮の沢行、東札幌駅下車(約10分)。

●J R 札幌駅周辺から

地下鉄南北線または東豊線札幌駅から次駅の大通駅下車(約2分)。東西線新札幌行に乗り換え東札幌駅下車(約6分)。

懇親会会場（ピアケラー札幌开拓使）のご案内

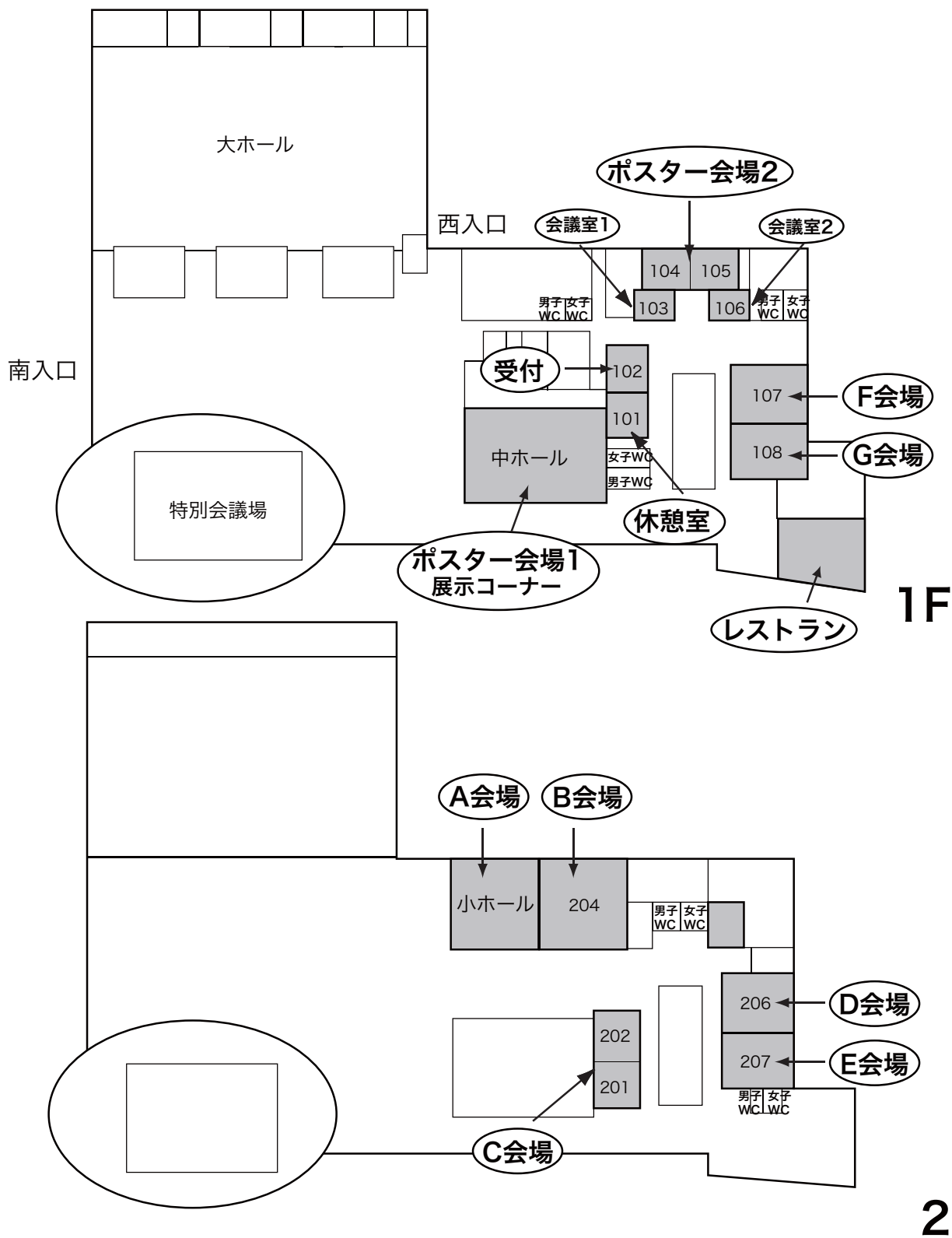


東札幌から地下鉄東西線、宮の沢行にて、2駅目のバスセンター前駅下車。8番出口より徒歩5分。サッポロファクトリー内レンガ館1F。

ピアケラー札幌开拓使ホームページ <http://www.sapporo-factory.co.jp/shops/04-02-104.html>

年会会場案内図

(札幌コンベンションセンター)



□頭セッション 10月6日(木)

開始時刻	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場
	【中質量 BH】	【銀 河】	【宇宙論】	【星 間】	【太陽系】	【太 陽】	【教育・他】
10:00	A01a ∪ A13b	R01a	U01a	Q01a	L01a	M01b - M03b	Y01a
10:12		R02a	U02a	Q02a	L02a	M04b - M06b	Y02a
10:24		R03a	U03a	Q03a	L03a	M08a	Y03a
10:36		R04a	U04a	Q04a	L04a	M09a	Y04a
10:48		R05a	U05a	Q05a	L05b, L07b, L08b	M10a	Y05b - Y07b
11:00		R06b - R08b	U06a	Q06a	L09a	M11a	Y08b, Y11b, Y12b
11:12		R09a	U07a	Q07a	L10a	M12a	Y14b, Y15b
11:24		R10a	U08a	Q08b - Q10b	L11b, L12b, L14b	M13a	-
11:36		R11a	U09b - U11b	Q11b - Q13b	L17a	M14a	-
11:48		R12a	U12b	Q14b - Q16b	L18a	M15a	-
12:00	昼休み						
	【中質量 BH】	【銀 河】	【宇宙論】	【星 間】	【高密度天体】	【太 陽】	【地上観】
13:00	A14a ∪ A23a	R13a	U18a	Q18a	H01a	M16a	V01a
13:12		R14a	U19a	Q19a	H02a	M17a	V02a
13:24		R15a	U20a	Q20a	H03a	M18a	V03a
13:36		R16a	U21a	Q21a	H04b - H06b	M19a	V06a
13:48		R17a	U22a	Q22a	H08a	M20a	V07a
14:00		R18a	U23a	Q23a	H09a	M21a	V08a
14:12		R19a	U24a	Q24a	H10a	M22a	V10b - V12b
14:24		R20a	U25a	Q25a	H11a	M23a	V13b - V15b
14:36		R21a	U26a	Q26a	H12a	M24a	V16a
14:48		R22b - R24b	U27a	Q27a	H13a	M25a	V17a
15:00		R25a	U28a	-	-	-	-
15:12		R26b	-	-	-	-	-
15:00		ポスター					

□頭セッション 10月6日(木)

開始時刻	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場
	【星・惑星】	【銀河】	【マグネター】	【星間】	【高密度天体】	【太陽/飛翔観】	【地上観】
16:00	P01a	R27a	B01a ∪ B17b	Q28a	H14b - H16b	M26a	V18a
16:12	P02a	R28a		Q29a	H17a	M27a	V21a
16:24	P03a	R29a		Q30a	H18a	M28a	V22a
16:36	P04b - P06b	R30a		Q31a	H19a	M29a	V23a
16:48	P07a	R31b - R33b		Q32a	H20a	M30a	V24b - V26b
17:00	P08b - P10b	R34a		Q33a	H21a	M31a	V27b - V29b
17:12	P11a	R35a		Q34a	H22b - H24b	W01a	V30a
17:24	P12a	R36a		Q35a	H26a	W02b - W04b	V31a
17:36	P13a	R37b - R39b		Q36a	H27a	W05b, W06b	V32a
17:48	P14b - P16b	R40b - R42b		Q37a	H28a	W07a	V33a
18:00	P17a	R43b - R45b		Q38a	H29b - H31b	W08a	V34a
18:12	P18b - P20b	R46b - R48b		Q39a	H32b	W09a	V35b, V37b, V38b
18:24	-			Q40a	-	W10b, W11b	V39b

□頭セッション 10月7日(金)

開始時刻	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場
	【星・惑星】	【銀河】	【アーカイブ】	【銀河団】	【高密度天体】	【飛翔観】	【地上観】
09:00	P21b - P23b	R52a	C01a ∪ C24a	T01a	H34a	W13b - W15b	V40a
09:12	P24a	R53a		T02a	H35a	W16b - W18b	V42a
09:24	P25a	R54a		T03a	H36a	W19b - W21b	V43a
09:36	P26a	R55a		T04a	H37a	W23b - W25b	V44a
09:48	P27a	R56a		T05b - T07b	H38a	W26b - W28b	V45b - V47b
10:00	P28a	R57a		T08b - T10b	H39a	W29b	V48b - V50b
10:12	P29a	R58a		T11b - T13b	H40a	W30a	V51b - V53b
10:24	P30b - P32b	R59a		T14a	H41b - H43b	W31a	V54a
10:36	P33a	R60a		T15a	H44a	W32b, W33b	V55a
10:48	P34a	R62a		T16a	H45a	W34a	V56b, V58b, V59b
11:00	P35a	R63a		T17a	H46b - H48b	W35b, W36b	V60b - V62b
11:12	P36a	R64a		T18a	H49b - H51b	W37a	V63b - V65b
11:24	P38b, P39b	R65b - R67b	-	H52a	W38b, W39b	-	
11:30	ポスター						
12:30	昼休み						
開始時刻	【星・惑星】	【銀河】	【恒星】	【銀河団】	【高密度天体】	【飛翔観】	【地上観】
13:30	P40a	R68a	N01a	T19a	H53a	W40a	V66a
13:42	P41a	R69a	N02a	T20a	H54a	W41a	V67a
13:54	P42a	R70a	N03a	T21a	H55a	W42a	V68a
14:06	P43a	R71a	N04a	T22a	H56a	W43a	V69b - V71b
14:18	P44a	R72a	N05a	T23a	H57a	W44a	V72b - V74b
14:30	P45a	R73b - R75b	N06a	T24a	H58a	W45a	V75b - V77b
14:42	P47b - P49b	R76a	N07a	T25a	H59a	W46a	V78a
14:54	P50a	R77a	N08a	T26a	H60a	W47a	V79a
15:06	P51a	R78a	N09b - N11b	T27a	H61a	W48a	V80a
15:18	P52b - P54b	-	N12b	-	H62a	W49a	V81a
15:30	-	-	-	-	-	W50b	-
15:30	天文教育フォーラム (B会場)						
16:30	総会 (B会場)						
18:30	懇親会						

□頭セッション 10月8日(土)

開始時刻	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場
	【星・惑星】	【銀河】	【恒星】	【銀河核】	【高密度天体】	【飛翔観】	【地上観】
09:00	P55a	R79a	N13a	S01a	H63a	W51a	V82a
09:12	P56a	R80a	N14a	S02b - S04b	H64a	W52a	V83a
09:24	P57a	R81a	N15a	S05a	H65a	W53a	V84a
09:36	P58a	R83a	N16a	S06a	H66a	W54a	V85b - V87b
09:48	P59a	R84a	N17a	S07a	H67a	W55a	V88b - V90b
10:00	P60a	R85b - R87b	N18a	S08a	H68a	W56a	V91a
10:12	P61a	R88a	N19a	S09a	H69a	W57a	V92b - V94b
10:24	P62a	R89a	N20b - N22b	S10a	H70a	W58a	V95a
10:36	P63a	R90a	N23b - N25b	S11a	H71a	W59a	V96a
10:48	P64a	R91a	N26a	S12a	H72a	W60a	V97b - V99b
11:00	P65a	R92a	N27a	S13b - S15b	H73a	W61a	V100b - V102b
11:12	P66a	R93a	N28b,N29b	S16b - S18b	H74a	W62a	V103b - V105b
11:24	P67b, P68b, P70b	R94b,R95b	-	S19b	H75a	W63a	V106b, V107b, V109b
11:30	ポスター						
12:30	昼休み						
開始時刻	【星・惑星】	【銀河】	【恒星】	【銀河核】	【高密度天体】	【飛翔観】	【地上観】
13:30	P71a	R96a	N30a	S22a	H76a	W64a	V113a
13:42	P72a	R97a	N31a	S24a	H77a	W65a	V114a
13:54	P73a	R98a	N32a	S25a	H78a	W66a	V116a
14:06	P74a	R100a	N33a	S26a	H79a	W67a	V118a
14:18	P75a	R101a	N34a	S27a	H80a	W68a	V119a
14:30	P76a	R102a	N35a	S28a	H81a	W69a	V120a
14:42	P77a	R103a	-	S29a	-	W70a	V121a
14:54	-	-	-	S30a	-	W71a	V122a
15:06	-	-	-	S31a	-	W72a	V123a
15:18	-	-	-	S32a	-	-	-
15:30	-	-	-	S33a	-	-	-
15:42	-	-	-	S34a	-	-	-

ポスターセッション 10月6日(木) ~ 10月8日(土)

ポスター会場 1									
【中質量BH】(9)					【銀河】(39)				
A04b	A05b	A06b	A11b	A12b	R06b	R07b	R08b	R22b	R23b
A13b	A16b	A17b	A18b		R24b	R26b	R31b	R32b	R33b
【マグネター】(14)					R37b	R38b	R39b	R40b	R41b
B02b	B03b	B04b	B05b	B06b	R42b	R43b	R44b	R45b	R46b
B08b	B09b	B10b	B12b	B13b	R47b	R48b	R49c	R50c	R51c
B14b	B15b	B16b	B17b		R61c	R65b	R66b	R67b	R73b
【アーカイブ】(11)					R74b	R75b	R82c	R85b	R86b
C04b	C05c	C06b	C07b	C08c	R87b	R94b	R95b	R99c	
C12c	C13c	C14b	C15b	C16b	【活動銀河核】(13)				
C17b					S02b	S03b	S04b	S13b	S14b
【高密度天体】(25)					S15b	S16b	S17b	S18b	S19b
H04b	H05b	H06b	H07c	H14b	S20c	S21c	S23c		
H15b	H16b	H22b	H23b	H24b	【銀河団】(9)				
H25c	H29b	H30b	H31b	H32b	T05b	T06b	T07b	T08b	T09b
H33c	H41b	H42b	H43b	H46b	T10b	T11b	T12b	T13b	
H47b	H48b	H49b	H50b	H51b	【宇宙論】(9)				
【太陽系】(10)					U09b	U10b	U11b	U12b	U13c
L05b	L06c	L07b	L08b	L11b	U14c	U15c	U16c	U17c	
L12b	L13c	L14b	L15c	L16c	【飛翔体観測機器】(32)				
【太陽】(7)					W02b	W03b	W04b	W05b	W06b
M01b	M02b	M03b	M04b	M05b	W10b	W11b	W12c	W13b	W14b
M06b	M07c				W15b	W16b	W17b	W18b	W19b
【恒星】(13)					W20b	W21b	W22c	W23b	W24b
N09b	N10b	N11b	N12b	N20b	W25b	W26b	W27b	W28b	W29b
N21b	N22b	N23b	N24b	N25b	W32b	W33b	W35b	W36b	W38b
N28b	N29b	N36c			W39b	W50b			
【星・惑星形成】(32)					【天文教育・他】(14)				
P04b	P05b	P06b	P08b	P09b	Y05b	Y06b	Y07b	Y08b	Y09c
P10b	P14b	P15b	P16b	P18b	Y10c	Y11b	Y12b	Y13c	Y14b
P19b	P20b	P21b	P22b	P23b	Y15b	Y16c	Y17c	Y18c	
P30b	P31b	P32b	P37c	P38b	【ジュニアセッション】				
P39b	P46c	P47b	P48b	P49b	【PDL】				
P52b	P53b	P54b	P67b	P68b	【最新情報コーナー】				
P69c	P70b				【展示コーナー】				
【星間現象】(10)					ジュー・データシステムズ株式会社				
Q08b	Q09b	Q10b	Q11b	Q12b					
Q13b	Q14b	Q15b	Q16b	Q17c					

ポスターセッション 10月6日(木) ~ 10月8日(土)

ポスター会場 2

【地上観測機器】(78)

V04c	V05c	V09c	V10b	V11b
V12b	V13b	V14b	V15b	V19c
V20c	V24b	V25b	V26b	V27b
V28b	V29b	V35b	V36c	V37b
V38b	V39b	V41c	V45b	V46b
V47b	V48b	V49b	V50b	V51b
V52b	V53b	V56b	V57c	V58b
V59b	V60b	V61b	V62b	V63b
V64b	V65b	V69b	V70b	V71b
V72b	V73b	V74b	V75b	V76b
V77b	V85b	V86b	V87b	V88b
V89b	V90b	V92b	V93b	V94b
V97b	V98b	V99b	V100b	V101b
V102b	V103b	V104b	V105b	V106b
V107b	V108c	V109b	V110c	V111c
V112c	V115c	V117c		

A. 中間質量ブラックホールと高エネルギー現象

10月6日(木) 午前・A会場		10月6日(木) 午後・A会場	
10:00	A01a ULXの観測と問題点 牧島一夫(東京大学/理化学研究所)	13:00	A14a 高密度星団の力学進化と中間質量ブラックホール形成 牧野淳一郎(東京大学)
10:17	A02a 低温度のULXは1000太陽質量のブラックホールを意味するか? 久保田あや(理化学研究所)	13:17	A15a ULXがPop III star起源の中質量BHである可能性への制限 三井晴可(京都大学)
10:29	A03a 中質量ブラックホールは必要ない 海老沢 研(宇宙航空研究開発機構)	13:29	A16b Evolution of Galactic Nuclei; I. Orbital evolution of single IMBH 松林達史(日本電信電話株式会社)
10:41	A04b High temperature diskを持つULXのスリム状態としての解釈 角田奈緒子(東京理科大学/理化学研究所)	13:29	A17b 銀河中心領域における複数ブラックホール系の進化 岩澤全規(東京大学)
10:41	A05b ChandraとXMM-Newtonを用いた近傍銀河の大光度X線源のサーベイ 宮脇良平(東京大学)	13:29	A18b 天の川銀河中心部における多数の巨大ブラックホール群存在の再確認 大家 寛(福井工業大学)
10:41	A06b HSTによるM51銀河中の超光度X線源の可視光対応天体の観測 寺島雄一(宇宙航空研究開発機構)	13:41	A19a 中間質量ブラックホールから巨大ブラックホールへ 戎崎俊一(理化学研究所)
10:53	A07a HETE-2/SwiftによるGRBの観測と中質量BHとの関係 田代 信(埼玉大学)	13:58	A20a 3C66Bにおける巨大バイナリーブラックホール検出における電離層補正 須藤広志(岐阜大学)
11:10	A08a 極超新星とガンマ線バースト 前田啓一(東京大学)	14:10	A21a 銀河中心核ブラックホールの質量分布の下限 林田 清(大阪大学)
11:27	A09a 300M _☉ を超える巨大質量星の進化と爆発・元素合成 大久保琢也(東京大学)	14:22	A22a 最も若い活動銀河中心核の広波長域スペクトル分布とバルジ質量 川口俊宏(国立天文台)
11:39	A10a 恒星の暴走的合体による巨大質量星形成 中里直人(理化学研究所)	14:34	A23a 輻射抵抗によるブラックホール成長の3次元シミュレーション 渡部靖之(筑波大学)
11:51	A11b スターバースト銀河M82とNGC 4736に存在するX線天体の光度と銀河中心からの距離の関係 平家憲(愛媛大学)		
11:51	A12b 球状星団での超高光度X線天体から探る中間質量ブラックホール形成 川勝 望(SISSA)		
11:51	A13b 「すばる」望遠鏡を用いたM81銀河のULX X-6の観測II:分光観測と輝線ネビュラ 久保田あや(理化学研究所)		

B. 軟ガンマ線リピーターとマグネター

10月6日(木) 午後・C会場	
16:00	B01r 軟ガンマ線リピーター (SGR) の観測 河合誠之 (東京工業大学)
16:25	B02b GEOTAIL 観測による SGR1806-20, SGR1900+14 巨大フレアの比較 田中康之 (東京大学)
16:30	B03b SGR1806-20 巨大フレア initial spike の擬周期性 寺沢敏夫 (東京大学)
16:32	B04b Swift 衛星による SGR 観測、ショートバーストからの早期 AfterGlow 観測 高橋忠幸 (宇宙航空研究開発機構)
16:40	B05b スーパーカミオカンデ II における SGR1806-20 からのニュートリノ探索 伊藤好孝 (名古屋大学)
16:45	B06b 野辺山ミリ波干渉計による SGR1806-20 の巨大フレアの電波残光のミリ波での検出 坪井昌人 (国立天文台)
16:52	B07r SGR 巨大フレアの物理 井岡邦仁 (京都大学)
17:12	B08b Giant Flare of SGR 1806-20 from a Relativistic Jet 山崎 了 (大阪大学)
17:17	B09b SGR 1806-20 巨大フレアからの超高エネルギー宇宙線生成の可能性 浅野勝晃 (国立天文台)
17:22	B10b 軟ガンマ線リピーター巨大フレアの磁気リコネクションモデルー太陽フレア/コロナ質量放出理論の応用 柴田一成 (京都大学)
17:30	B11a マグネター研究の現状 柴崎徳明 (立教大学)
17:50	B12b 強磁場超新星とプロトマグネターの誕生 滝脇知也 (東京大学)
17:55	B13b 高密度物質における相転移とクォーク星 飯田 圭 (理化学研究所)
18:08	B14b SGR からの中規模フレアの観測 前當未来 (青山学院大学)
18:13	B15b HETE-2 衛星による軟ガンマ線リピーターの観測 (3) 中川友進 (青山学院大学)
18:15	B16b Anomalous X-ray Pulsar 4U 0142+61 の近赤外パルス観測 森井幹雄 (宇宙航空研究開発機構)
18:20	B17b SGR とマグネター：ASCA の発見と未解決の観測問題 村上敏夫 (金沢大学)

C. アーカイブデータで拓く天文学

10月7日(金) 午前・C会場		
09:00	C01a MISAO プロジェクト 変光星探索のための画像データベース構築と実践 吉田誠一((株)システム計画研究所)	C13c 古文書における「赤気」現象の現代のオーロラ科学による解明 中沢 陽 (新潟県立巻高等学校)
09:15	C02a 突発天体研究における国際変光星メイリングリスト VSNET の活躍 野上大作 (京都大学)	10:21 C14b 系外惑星が恒星に落ちる可能性とそれに伴う等級変化の検出 藤原智子 (九州大学)
09:25	C03a 2MASS で探る SU UMa 型矮新星 SDSS J013701.06-091234.9 今田 明 (京都大学)	10:21 C15b 超新星のデータアーカイブ構築へ向けて 内藤博之 (西はりま天文台)
09:35	C04b 2MASS を利用した変動天体の探査 高妻真次郎 (九州大学)	10:21 C16b 市民参加型研究プロジェクト用 WWW 公開システム 石田俊人 (西はりま天文台 / 兵庫県立大学)
	C05c 東京大学木曾観測所乾板アーカイブによる前主系列バイナリ星 KH15D の研究 三戸洋之 (東京大学)	10:21 C17b ぐんま天文台データアーカイブシステム 衣笠健三 (県立ぐんま天文台)
09:35	C06b 恒星の長期的な変光と AGB 星 平井正則 (福岡教育大学)	10:35 C18a 東京学芸大学における暗黒星雲の広域探査 土橋一仁 (東京学芸大学)
09:35	C07b 写真乾板アーカイブが拓げる時間ベースライン 柳澤顕史 (国立天文台)	10:45 C19a HST アーカイブデータから探る局所銀河群矮小銀河の星形成史 生田ちさと (国立天文台)
	C08c SKYBOT による太陽系小天体の表示と画像データアーカイブとの照合 中嶋浩一 (一橋大学)	10:55 C20a 銀河形成史の探査手段としての超金属欠乏星データベースの開発 須田拓馬 (北海道大学)
09:46	C09a 彗星や流星、及び日月食などの歴史的記録と現代天文学 長谷川一郎 (東亜天文学会会長・元大手前大学)	11:05 C21a 世界初の X 線光子データベース「MAXI 地上データベース」の実現に向けた性能試験 小笠原直進 (日本大学)
10:01	C10a 古代の日食記録による地球自転変動と月の潮汐項の研究 相馬 充 (国立天文台)	11:15 C22a ASTRO-F 全天サーベイ点源天体カタログの作成 山村一誠 (宇宙航空研究開発機構)
10:11	C11a 古代・中世の日月食記録をアーカイブする 谷川清隆 (国立天文台)	11:25 C23a 宇宙科学データベース DARTS の取り組みと成果 - ASTRO-F 向け開発 - 田村隆幸 (宇宙航空研究開発機構)
	C12c PAONET データベースを利用した天文学史資料の収集と公開 西村昌能 (洛東高校)	11:35 C24a JVO の研究開発 (分散データベースを用いた銀河研究への応用) 本田敏志 (国立天文台)

H. 高密度天体

10月6日(木) 午後・E会場		10月6日(木) 午後・E会場	
13:00	H01a ふたご座U星の1985年超爆発について 尾崎洋二(東京大学)	14:36	H12a 赤道面非対称磁場による超新星爆発と中性子星の固有速度 澤井秀朋(早稲田大学)
13:12	H02a 古典新星V1974 CygのX線、紫外線、可視光度曲線の統一モデル 蜂巢 泉(東京大学)	14:48	H13a 磁場を伴った高速回転星の平衡形状 吉田至順(早稲田大学)
13:24	H03a Chandra衛星の高精度X線分光装置を用いたBoundary layerの研究 岡田俊策(宇宙航空研究開発機構)	10月6日(木) 午後・E会場	
13:36	H04b 食のある矮新星を用いた降着円盤の再構成: I. VLTでの観測結果 植村 誠(広島大学)	16:00	H14b X線連星パルサーからの鉄輝線の起源 II 幸村孝由(工学院大学)
13:36	H05b 新たなSU UMa型矮新星FQ Monの発見とその観測 久保田香織(京都大学)	16:00	H15b HETE-2衛星による500個のX線バーストの観測(2001年から2004年) 杉田聡司(青山学院大学)
13:36	H06b Nova V475 Sctの可視中分散偏光分光観測と非等方高速ウィンドの発見 川端弘治(広島大学)	16:00	H16b HETE-2衛星のとらえたガンマ線バースト(2004-2005年シーズン) 小林明菜(青山学院大学)
	H07c SDSS J173008.38+624754.7: A New SU UMa-Type Dwarf Nova 石岡涼子(国立天文台)	16:12	H17a HETE-2衛星の観測運用状況ー2005年春から現在まで 吉田篤正(青山学院大学)
13:48	H08a Be/X線連星EXO 2030+375の周期的X線アウトバーストのモデル 岡崎敦男(北海学園大学)	16:24	H18a HETE-2衛星が捉えた複数ピークを持つガンマ線バースト 中川友進(青山学院大学)
14:00	H09a X線を用いた弱磁場中性子星への質量降着流の研究(2) 高橋弘充(東京大学)	16:36	H19a HETE-II衛星によるXRF040916の観測 有元 誠(東京工業大学)
14:12	H10a RXTE衛星を用いたCep X-4のサイクロトロン共鳴吸収線の探索 榎戸輝揚(東京大学)	16:48	H20a X線バースト HETEJ1900-25の発見とSLX1735-269のsuperburstの観測 鈴木素子(理化学研究所)
14:24	H11a 質量降着型X線パルサーのX線光度に依存したサイクロトロン共鳴エネルギーの変化 中島基樹(日本大学/理化学研究所)	17:00	H21a 「すばる」による短い γ 線バーストGRB050509Bの光学対応天体探索 河合誠之(東京工業大学)

		10月7日(金) 午前・E会場
17:12	H22b すばる望遠鏡による XRF 030723 母銀河の観測 佐藤理江 (東京工業大学)	09:00 H34a Ashra 本観測へ向けて 佐々木真人 (東京大学)
17:12	H23b GRB050319 の早期残光の振る舞い 浦田裕次 (理化学研究所)	09:12 H35a プロトタイプ Ashra 望遠鏡による Optical Flash 観測 会田勇一 (東京大学)
17:12	H24b ガンマ線バースト円盤の時間発展を追う 川中宣太 (京都大学)	09:24 H36a Ashra 望遠鏡を用いた高エネルギー γ 線天体の探索 奥村 暁 (東京大学)
	H25c ガンマ線バーストの固有運動から得られる示唆に関して 鈴木崇弘 (京都大学)	09:36 H37a ブラックホール連星候補天体 GRO J1655-40 のアウトバースト - RXTE 衛星による観測 - 齋藤浩二 (青山学院大学)
17:24	H26a 非一様ジェットモデルによるガンマ線バーストの E_p - E_{iso} 関係 当真賢二 (京都大学)	09:48 H38a HETE-2による ブラックホール候補 天体 V4641 Sgr の X線フレアの観測 下川辺隆史 (東京工業大学)
17:36	H27a ガンマ線バーストのパルス 高木 亮 (筑波大学)	10:00 H39a マイクロクエーサー LS I +61 303 の可視偏光分光観測 永江 修 (広島大学)
17:48	H28a Relativistic MHD Waves and Field Line Resonance on Rotating Magnetars 沖田太志 (広島大学)	10:12 H40a 振動解析による SgrA* の降着円盤 の確認 三好 真 (国立天文台)
18:00	H29b 多波長光度曲線で探る近傍 Ia 型超 新星の諸性質 高梨直紘 (東京大学)	10:24 H41b ブラックホール候補星 4U 1630-47 の時間変動解析 須藤敬輔 (立教大学)
18:00	H30b SNR Tycho 領域の測光に基づく Ia 型超新星伴星の候補探査 井原 隆 (東京大学)	10:24 H42b ブラックホール連星の very high state における降着円盤の状態の分類 平澤 歩 (広島大学)
18:00	H31b 超新星爆発の MHD シミュレーションと 元素合成 西村信哉 (九州大学)	10:24 H43b KV UMa=XTE J1118+480 の 2005 年の outburst の測光観測 前原裕之 (東京大学)
18:12	H32b 超新星の ejecta と星周物質との相 互作用領域における相対論的自己相似解 中村 航 (東京大学)	10:36 H44a ワープした相対論的円盤での共鳴振 動現象による QPO s (続) 加藤正二 (奈良産業大学)
	H33c 星表面を通過する相対論的衝撃波の 自己相似解 茂山俊和 (東京大学)	

		10月7日(金) 午後・E会場	
10:48	H45a Eclipsing Light-Curve Asymmetry for Black-Hole Accretion Flows 渡会兼也 (大阪教育大学)	13:30	H53a 磁気圧優勢なブラックホール降着円盤の形成と X 線スペクトル状態遷移 町田真美 (国立天文台)
11:00	H46b 中性子星への降着流と熱的不安定性 渡会兼也 (大阪教育大学)	13:42	H54a アウトバースト中のブラックホール降着円盤の進化 松元亮治 (千葉大学)
11:00	H47b マイクロクェーサー V4641Sgr の臨界降着円盤モデルへのフィッティング 西山晋史 (大阪教育大学)	13:54	H55a 超臨界降着流の輻射流体シミュレーション; 重元素量の影響 大須賀 健 (立教大学)
11:00	H48b 熱的不安定中の降着円盤のラインスペクトル 川田明寛 (大阪教育大学)	14:06	H56a Neutrino Pair Annihilation in Hyperaccreting Black Hole 高橋 勇太 (東京大学)
11:12	H49b Relativistic Radiative Flow in the Luminous Disk 福江 純 (大阪教育大学)	14:18	H57a カーブラックホール・エルゴ領域に架かる磁氣的橋の爆発的膨張と相対論的ジェット形成 小出真路 (富山大学)
11:12	H50b トロイダル磁場を考慮した ADAF モデルにおける自己相似解 秋月千鶴 (大阪教育大学)	14:30	H58a 一般相対論的磁気流体数値シミュレーションによるカー・ブラックホールの回転にともなうアウトフロー 馬見塚 裕 (京都大学)
11:12	H51b 磁気圧優勢領域を含むブラックホール降着円盤の定常解 小田 寛 (千葉大学)	14:42	H59a 磁気流体ジェットを噴出する降着円盤における質量降着過程の 3次元 MHD 数値実験 桑原匠史 (情報通信研究機構)
11:24	H52a Pop III 連星系における伴星超新星爆発による主星ガス円盤への力学的影響: 連星間の距離とガス円盤モデルに対する依存性 佐藤潤一 (筑波大学)	14:54	H60a 回転ブラックホール近傍における磁気回転不安定性 横沢正芳 (茨城大学)
		15:06	H61a ブラックホール降着流における MHD Shock 形成 高橋真聡 (愛知教育大学)
		15:18	H62a 相対論的磁気リコネクションの 2次元 MHD 数値シミュレーション (II) 渡邊直之 (東京大学)

10月8日(土) 午前・E会場		10月8日(土) 午後・E会場	
09:00	H63a Fully General Relativistic Magnetohydrodynamics 柴田 大 (東京大学)	11:12	H74a Ia型超新星によるp過程年代学と太陽系形成 日下部元彦 (東京大学)
09:12	H64a 巨大質量星の自転磁場重力崩壊とジェット・ブラックホール形成 諏訪雄大 (東京大学)	11:24	H75a 2次元超新星爆発におけるrプロセス元素合成：多次元の効果 望月優子 (理化学研究所)
09:24	H65a 重力崩壊する回転大質量から放出されるジェット内の中性子過剰核合成 藤本信一郎 (熊本電波高専)		
09:36	H66a 大質量星の強磁場重力崩壊とジェット生成、伝播のシミュレーション 滝脇知也 (東京大学)	13:30	H76a ニュートリノ振動を考慮した超新星軽元素合成 吉田 敬 (東北大学)
09:48	H67a 種族III極超新星の相対論的ジェットによる元素合成と金属欠乏星の元素組成 富永 望 (東京大学)	13:42	H77a Pop III大質量星の重力崩壊に伴うニュートリノ放出 中里健一郎 (早稲田大学)
10:00	H68a 現実的状态方程式による、大質量回転星コアの重力崩壊の一般相対論的数値流体シミュレーション 関口雄一郎 (東京大学)	13:54	H78a 超新星爆発の衝撃波伝播と超新星ニュートリノのMSW効果 川越至桜 (総合研究大学院大学/国立天文台)
10:12	H69a 大質量星の放射優勢領域における磁気流体不安定性と角運動量輸送(II) 政田洋平 (京都大学)	14:06	H79a 自転磁場原始中性子星における非対称ニュートリノ放射 固武 慶 (早稲田大学)
10:24	H70a 準定常状態を仮定した重力崩壊型超新星爆発シミュレーション 渡邊 克 (早稲田大学)	14:18	H80a 非等方ニュートリノ輻射によって引き起こされる重力崩壊型超新星爆発の2次元数値シミュレーション 間所秀樹 (理化学研究所)
10:36	H71a 重力崩壊型超新星で発生する衝撃波の非球対称擾乱に対する安定性 山崎達哉 (京都大学)	14:30	H81a 現実的な星の重力崩壊から放出される重力波：ニュートリノ効果 木内建太 (早稲田大学)
10:48	H72a 非球対称なIa型超新星爆発のスペクトルモデル 田中雅臣 (東京大学)		
11:00	H73a Ia型超新星残骸中のイオン分布計算の観測的妥当性 尾崎 仁 (東京大学)		

L. 太陽系

10月6日(木) 午前・E会場		
10:00	L01a 角運動量有りの三体問題へ向けて 桑原健二 (早稲田大学)	L13c C/2002 T7 (LINEAR) 彗星コマ中に 検出された氷微粒子の温度と結晶性 河北秀世 (京都産業大学)
10:12	L02a 多様体補正による効率的な軌道シ ミュレーション II: KS 正則化軌道 福島登志夫 (国立天文台)	11:24 L14b 木星衛星イオ起源ナトリウム原子の 放出速度分布とその空間分布 青井一紘 (東北大学)
10:24	L03a 木星の準衛星 木下 宙 (国立天文台)	L15c Venera9 飛翔時における金星大気 煙霧粒子の分布 佐藤靖彦 (東京理科大学 / 国立天文台)
10:36	L04a 小惑星 (25143) Itokawa : その NEO としての側面 吉川 真 (宇宙航空研究開発機構)	L16c エウロパの表面応力に及ぼす非同期 回転の効果 : 回転周期と表面粘性に 与える制約 原田雄司 (東京大学)
10:48	L05b トロヤ群小惑星の離心率と臨界引数 中井 宏 (国立天文台)	11:36 L17a 偏光度観測による火星大気エアロゾ ル分布の研究 中串孝志 (京都大学)
	L06c 逐次散乱近似を用いた高速不変埋蔵 法による数値計算の高速化と精度 川端 潔 (東京理科大学)	11:48 L18a 野辺山ミリ波干渉計を用いた金星大 気イメージング観測 佐川英夫 (東京大学)
10:48	L07b 3色同時ライトカーブ観測による小 惑星の局所的カラー変化 黒田大介 (総合研究大学院大学)	
10:48	L08b 小惑星 (21)Lutetia の偏光とライト カーブの同時観測 佐藤祐介 (東京大学)	
11:00	L09a IバンドとVバンドの測光による彗 星分類の可能性 佐藤千佳 (明星大学)	
11:12	L10a 2004年12月2日にOH大気光観 測装置が捉えた現象は、ほうおう群 の突発出現か? 山本真行 (高知工科大学)	
11:24	L11b 流星の自動検出プログラムの開発 竹田育弘 (明治大学)	
11:24	L12b 流星痕のアフターグロー観測 戸田雅之 (日本流星研究会)	

M. 太陽

10月6日(木) 午前・F会場			
10:00	M01b コロナホールでのコロナ加熱、太陽風加速の普遍性 鈴木 建 (京都大学)	11:12	M12a フレアのリコネクションレートの統計解析 長島 薫 (京都大学)
10:00	M02b Ellerman bomb の時間発展の分光学的観測 松本琢磨 (京都大学)	11:24	M13a リコネクション・ジェットの内衝撃波：電気抵抗モデル依存性 田沼俊一 (京都大学)
10:00	M03b 自由な空間での磁気リコネクションの磁気レイノルズ数依存性 新田伸也 (総合研究大学院大学)	11:36	M14a 3次元 MHD シミュレーションによる磁気リコネクションジェット先端領域のダイナミクスの研究 丹所良二 (東京工業大学)
10:12	M04b 巨大アーケード形成現象の統計的解析 塩田大幸 (京都大学)	11:48	M15a tearing 不安定から始まる磁気リコネクションの計算 野澤 恵 (茨城大学)
10:12	M05b 光球面磁場とフレア規模の関係 その2 山本哲也 (東京大学 / 国立天文台)	10月6日(木) 午後・F会場	
10:12	M06b フレアループ上空に放出されたプラズマ塊中の非熱的電子 (2) 増田 智 (名古屋大学)	13:00	M16a 京都大学 SMART H α 全面像のデータ公開開始と最近の成果 黒河宏企 (京都大学)
	M07c X-ray Bright Point の動きから評価された太陽コロナ下部の微分回転速度 原 弘久 (国立天文台)	13:12	M17a The relation between the Ca brightening and oscillation in the chromosphere 神尾 精 (京都大学)
10:24	M08a RHESSI 衛星および野辺山電波ヘリオグラフによる、ループトップ放射源の観測 浅井 歩 (国立天文台)	13:24	M18a CaIIK 線スペクトルによるコロナ X 線輝点下の彩層診断 IV. 渡邊鉄哉 (国立天文台)
10:36	M09a X-point 付近に位置する電波源の発見 成影典之 (京都大学)	13:36	M19a Fe I 6302 の Stokes V 非対称性解析による細い磁束管のダイナミクスとコロナ加熱の関係 永田伸一 (京都大学)
10:48	M10a RHESSI 衛星を用いたフレア初相の調査 宮腰 純 (総合研究大学院大学)	13:48	M20a 彩層 3 次元磁場構造の直接観測を可能にする H α 偏光観測 花岡庸一郎 (国立天文台)
11:00	M11a フレアループ頂上の高温高密度領域形成機構 柴崎清登 (国立天文台)	14:00	M21a 捻りを弱くしていった場合の浮上磁束管の振舞いについて 宮腰剛広 (京都大学)

N. 恒星

		10月7日(金) 午後・C会場	
14:12	M22a	キンクモードによる Flux Tube 放出の 3次元非線形シミュレーション研究 井上 諭 (広島大学)	13:30 N01a 球状星団の力学的進化を考慮した恒星進化の新しい描像 山田志真子 (北海道大学)
14:24	M23a	太陽活動領域における電流層の構造と不安定性 草野完也 (地球シミュレータセンター)	13:42 N02a 銀河系の硫黄と亜鉛の化学進化 (III) : $-0.5 < [\text{Fe}/\text{H}] < 0.5$ 領域における亜鉛の振る舞い 勝亦優大 (東海大学)
14:36	M24a	浮上磁場に伴う磁気リコネクションの 3次元 MHD シミュレーション 清水雅樹 (京都大学)	13:54 N03a 銀河系の硫黄と亜鉛の化学進化 (IV) : $-4 < [\text{Fe}/\text{H}] < +0.5$ 領域における硫黄の化学進化 比田井昌英 (東海大学)
14:48	M25a	浮上磁場に伴うコロナアーケード磁場の崩壊及び放出過程 能登谷 瞬 (東京大学)	14:06 N04a OAO/HIDES による金属欠乏星の亜鉛組成 齋藤雄二 (東海大学)
10月6日(木) 午後・F会場		14:18 N05a 炭素過剰低金属星の化学組成 青木和光 (国立天文台)	
16:00	M26a	太陽磁場活動望遠鏡 (SMART) によるフィラメント活動の観測 岡本丈典 (京都大学)	14:30 N06a 超金属欠乏星における炭素星の起源 小宮 悠 (北海道大学)
16:12	M27a	プロミネンス活動と太陽 11 年周期の関係 - NoRH の観測から - 下条圭美 (国立天文台)	14:42 N07a $[\text{Fe}/\text{H}] < -5$ のハロー星の組成の統一的理解と種族 III 星起源 西村高德 (北海道大学)
16:24	M28a	野辺山電波ヘリオグラフ画像を用いたシグモイド質量の統計的解析 並木優子 (総合研究大学院大学)	14:54 N08a 超新星爆発における r 過程元素合成と宇宙年齢の下限値 和南城伸也 (東京大学)
16:36	M29a	CME の加速・減速とフレアに関連 大山真満 (滋賀大学)	15:06 N09b マイクロクエーサー V4641 Sgr 伴星表面の化学組成解析 定金晃三 (大阪教育大学)
16:48	M30a	CME 衝撃波同士の相互作用のシミュレーション 小川智也 (情報通信研究機構)	15:06 N10b Wolf-Rayet 連星 Theta Muscae からの炭素とネオンの強い輝線の検出 菅原泰晴 (中央大学)
17:00	M31a	カレントシートと銀河宇宙線の太陽変調 三宅晶子 (茨城大学)	15:06 N11b XMM-Newton 衛星による早期型星の X 線スペクトルの解析 山本則正 (名古屋大学)
			15:18 N12b 磁気回転恒星風での速進磁気流体波動の無衝突減衰 鈴木 建 (京都大学)

10月8日(土) 午前・C会場			
09:00	N13a りょうけん座 Y 星の光学域ダストシェル探査 泉浦秀行 (国立天文台)	10:36	N25b SPECTRA AND PHOTOMETRIC COLORS OF LATE-TYPE GIANTS: THEORETICAL PREDICTIONS VERSUS OBSERVATIONS Kucinskask, Arunas (国立天文台)
09:12	N14a post-AGB 星周空間における UIR 放射の空間的差異 宮田隆志 (東京大学)	10:48	N26a OGLE データベースを用いた銀河系バルジにあるミラ型変光星の研究 福士比奈子 (東京大学)
09:24	N15a Oxygen-rich AGB 星周での dust 形成と構造 III 保田悠紀 (北海道大学)	11:00	N27a OGLE データベースから得たミラ型変光星による銀河系バルジ構造 松永典之 (東京大学)
09:36	N16a Spitzer Space Telescope による M 型ミラ型変光星の中間赤外スペクトル変光観測 I. 北黄極方向のミラ型星 尾中 敬 (東京大学)	11:12	N28b 輻射流体力学による post-AGB 星の脈動モデル : I 相川利樹 (東北学院大学)
09:48	N17a 高分解能 FTS スペクトルによる MOLSPHERE (分子光球) の構造と動力学特性 : M 型超巨星ベテルギウス (α Ori) 辻 隆 (東京大学)	11:12	N29b Chandra 衛星による惑星状星雲からの X 線放射の観測 (3) 村島未生 (東京大学)
10:00	N18a 特異新星 V838 Mon からの一酸化珪素レーザー電波の検出 出口修至 (国立天文台)	10月8日(土) 午後・C会場	
10:12	N19a VERA による半規則型変光星 VX Sgr の水レーザーのモニタリング観測 蒲原龍一 (鹿児島大学 / 国立天文台)	13:30	N30a roAp 星のスペクトル線輪郭変動の解釈 柴橋博資 (東京大学)
10:24	N20b VERA を用いた VY Canis Majoris の周りのレーザー観測 Choi, Yoonkyung (東京大学)	13:42	N31a SPB 星の r- モード脈動不安定性 李 うみん (東北大学)
10:24	N21b VERA20m 電波望遠鏡による NML-Tau の SiO レーザー観測 松本尚子 (鹿児島大学)	13:54	N32a 偏光観測を利用したマイクロレンズ天体の質量測定法 吉田 宏 (福島県立医大)
10:24	N22b 赤外線星 IRC-10414 に付随する水レーザースポットの運動 前田利久 (鹿児島大学)	14:06	N33a 高速自転星アルタイルの分光、光干渉計データを用いた解析 大石奈緒子 (国立天文台)
10:36	N23b early post-AGB star WX-Psc からの bipolar-outflow の検出 猪俣則智 (鹿児島大学)	14:18	N34a B 型輝線星 Decretion Disk の non-LTE 計算 岩松英俊 (京都大学)
10:36	N24b ミラ型星の振動モード別の SiO レーザー検出状況について 板 由房 (宇宙航空研究開発機構)	14:30	N35a 位置天文連星の軌道・質量の決定法 浅田秀樹 (弘前大学)
			N36c 近接連星 XZ Leo の測光観測 山崎篤磨 (防衛大学校)

P. 星・惑星形成

10月6日(木) 午後・A会場			
16:00	P01a ファースト・コアの質量降着進化 西合一矢 (国立天文台)	17:24	P12a 3D Simulations of Turbulent, Magnetized Clouds : Effects of Outflows 中村文隆 (新潟大学)
16:12	P02a コンピュータ・シミュレーションに よる中小質量星形成効率の推定 中野武宣	17:36	P13a X線フレアに伴う磁気バブルによっ て原始惑星系円盤に発生する衝撃波 の伝搬に関する電磁流体シミュレ ーション研究 林 満 (国立天文台)
16:24	P03a ionized shock が bright-rimmed cloud 中の星形成に与える影響 本山一隆 (国立天文台)	17:48	P14b X線フレアに伴う磁気バブルが原始 惑星系円盤の外側領域に及ぼす作用 中本泰史 (筑波大学)
16:36	P04b 低金属度環境における星形成雲の重 力収縮と分裂 釣部 通 (大阪大学)	17:48	P15b WTTS V773 Tau からの電波フレ アの検出 梅本智文 (国立天文台)
16:36	P05b 第一世代星形成過程における磁場の 散逸の半径依存性 牧 秀樹 (立教大学)	17:48	P16b Chandra X線衛星による M42 の 観測 半谷雅志 (中央大学)
16:36	P06b 解適合格子を用いた自己重力流体 コードの開発 松本倫明 (法政大学)	18:00	P17a Chandra 衛星による大質量星形成 領域 NGC2264 の観測 柳田健之 (東京大学)
16:48	P07a 小質量原始星 NGC1333IRAS4-B における HCOOCH ₃ の検出 坂井南美 (東京大学)	18:12	P18b Chandra による ZCma の X線観測 山下敦史 (中央大学)
17:00	P08b 南天の近傍暗黒星雲の高密度分子コ アサーベイ 林 暁子 (名古屋大学)	18:12	P19b Chandra による IRAS 20126+4104 の X線観測 岩本宙礼 (中央大学)
17:00	P09b NANTEN を用いたカリナ腕にお ける分子雲コアの無バイアスサーベ イ 米倉覚則 (大阪府立大学)	18:12	P20b M42 における前主系列星の X線長 期変動 II 兵藤義明 (京都大学)
17:00	P10b ASTE Massive Star Formation Project : RCW38 領域の高密度コ ア探査 内藤誠一郎 (東京大学)		
17:12	P11a 3D MHD simulation of magnetized cloud fragmentation 工藤哲洋 (国立天文台)		

10月7日(金) 午前・A会場	
09:00	P21b 高銀緯分子雲 MBM55 の近赤外線観測 岸辺紀幸 (神戸大学)
09:00	P22b 星なし分子雲に付随する輝線星の検出 森田淳子 (名古屋市立大学)
09:00	P23b すばるの熱赤外線観測で見えてきた、R CrA 星形成領域の高密度原始星群 根建 航 (東京大学 / 国立天文台)
09:12	P24a BEARS Star-Formation Project: Orion A 分子雲における分子雲コアサーベイ III - コア質量関数と IMF の関係 池田紀夫 (総合研究大学院大学)
09:24	P25a 野辺山 45m 望遠鏡による大質量高密度コアのサーベイ 酒井 剛 (国立天文台)
09:36	P26a ASTE による南天の星団形成領域 NGC3576 の高密度コアサーベイ 山口伸行 (国立天文台)
09:48	P27a Lupus 3 分子雲の 1.3 mm 連続波による観測 立原研悟 (神戸大学)
10:00	P28a 大質量星形成領域 G192.16-3.84 水メーザースポット群が付随するジェットとガストラス 今井 裕 (鹿児島大学)
10:12	P29a W3 IRS5 と IRS4/SMS3 に対する高密度コアの高分解能観測 齋藤弘雄 (国立天文台)
10:24	P30b W4 に付随する Bright Rimmed Cloud での若い星団形成 川原健太郎 (岡山理科大学)
10:24	P31b 近赤外線によるほ座の巨大分子雲サーベイ: 分子雲 C における星形成 馬場大介 (名古屋大学)
10:24	P32b 測光による褐色矮星の分類法 白岩真弥 (神戸大学)
10:36	P33a へびつかい座 ρ 分子雲コアにおける赤外線分光観測 石原明香 (東京大学)
10:48	P34a 銀河系最外縁における星生成の近赤外線深撮像 安井千香子 (東京大学)
11:00	P35a Bok Globule CB244 の $H^{13}CO^+$ 観測 黒野泰隆 (東京大学)
11:12	P36a ASTE を用いた牡牛座 L1551 領域の CO(3-2) 輝線広域マッピング 塚越 崇 (総合研究大学院大学)
	P37c 星形成領域に付随する IRAS 点源に対する水メーザーとアンモニアの大規模サーベイ I - サンプル、観測の詳細と水メーザーの結果 砂田和良 (国立天文台)
11:24	P38b VERA による NGC 1333 領域の H_2O メーザー観測 廣田朋也 (国立天文台)
11:24	P39b VERA プロジェクト: 銀河系中心領域 II (Sgr B2, RCW142) 小山友明 (国立天文台)

10月7日(金) 午後・A会場			
13:30	P40a ASTEによるClass 0/I 原始星 IRAS13036-7644 の観測 平松正顕 (東京大学)	15:06	P51a 原始巨大惑星へのガス降着とアウトフロー 町田正博 (京都大学)
13:42	P41a NMA 原始惑星系円盤サーベイ天体の CO($J=3-2$) ASTE 観測 百瀬宗武 (茨城大学)	15:18	P52b 原始惑星系円盤表面の衝撃波は見えるか? 2 三浦 均 (筑波大学)
13:54	P42a ミリ波干渉計を用いた中質量原始星コアおよび双極分子流の観測 (1) 高橋智子 (総合研究大学院大学)	15:18	P53b コンドリュールのはぎとりを起す部分熔融状態は実現されるか? 保田誠司 (筑波大学)
14:06	P43a ミリ波干渉計を用いた中質量原始星コア及び双極分子流の観測 (2) 島尻芳人 (東京大学)	15:18	P54b 高速ガス流中における融解ダストの力学的振る舞い 三浦 均 (筑波大学)
14:18	P44a SMA+JCMT による原始星連星 IRAS 16293-2422 のサブミリ波分子輝線 HCN (4 - 3) 観測 高桑繁久 (国立天文台)	10月8日(土) 午前・A会場	
14:30	P45a すばる望遠鏡・CIAO による HL Tau の高解像度撮像観測 工藤智幸 (総合研究大学院大学)	09:00	P55a KH 15D における近赤外線長期モニタリング観測 日下部展彦 (総合研究大学院大学)
	P46c すばる望遠鏡による IRC T Tau Sa-Sb の近赤外コロナグラフ撮像追観測 眞山 聡 (総合研究大学院大学)	09:12	P56a Herbig Ae/Be 型星星周円盤の 20 μ m 帯撮像観測 本田充彦 (宇宙航空研究開発機構)
14:42	P47b おうし座 Class I 天体の K バンドエシエル分光 石井未来 (国立天文台)	09:24	P57a Herbig Ae/Be 型星周囲におけるシリケートダストの進化 藤原英明 (東京大学)
14:42	P48b T Tauri 型星が示す可視スペクトル線の高分散エシエル偏光分光観測 秋田谷 洋 (東北大学)	09:36	P58a サブミクロン粒子凝集体ダストによる原始惑星系円盤の赤外線スペクトル 木村 宏 (北海道大学)
14:42	P49b 原始星風と原始惑星系円盤内縁部; 密度 Gap を衝撃波が通過するとき 白鷹範子 (東京工業大学)	09:48	P59a ベガ型星ダストデブリ円盤の寿命を決定する新たな過程 山本哲生 (北海道大学)
14:54	P50a 連星と共鳴した渦状衝撃波による周連星円盤からのガス降着 花輪知幸 (千葉大学)	10:00	P60a 原始惑星系円盤内のダスト粒子成長・沈殿過程 野村英子 (神戸大学)

		10月8日(土) 午後・A会場
10:12	P61a 原始惑星系円盤内ダスト層におけるシアー不安定性によるダスト密度分布変化とコリオリ力の影響 石津尚喜 (京都大学)	13:30 P71a トランジット惑星系における Rossiter 効果 I. HD209458 での観測結果 成田憲保 (東京大学)
10:24	P62a 原始惑星系円盤内におけるダストの衝突破壊 陶山 徹 (東京工業大学)	13:42 P72a すばる望遠鏡による超巨大コアをもつ系外惑星 HD149026 b の発見 佐藤文衛 (国立天文台)
10:36	P63a 原始惑星系円盤表面におけるダスト蒸発・分解と円盤 SED への影響 田中秀和 (北海道大学)	13:54 P73a 超巨大コアを持つ系外惑星 HD149026 b の起源について 井田 茂 (東京工業大学)
10:48	P64a 付着力を考慮した粉体層への衝突の数値シミュレーション 和田浩二 (北海道大学)	14:06 P74a 地球型惑星形成の統計的性質 小久保英一郎 (国立天文台)
11:00	P65a 真空実験による金属鉄凝縮挙動の解明 橋 省吾 (東京大学)	14:18 P75a Small Satellites の残存量から探る周原始木星環境 釜谷秀幸 (京都大学)
11:12	P66a 晩期星周および原始惑星系円盤における金属鉄の凝縮挙動 永原裕子 (東京大学)	14:30 P76a 太陽系外惑星系の主星自転軸と惑星公転軸間の角度の決定 須藤 靖 (東京大学)
11:24	P67b 太陽系外惑星のコロナグラフ探査観測 伊藤洋一 (神戸大学)	14:42 P77a 月の起源 II - 大衛星形成の必要条件 - 和田桂一 (国立天文台)
11:24	P68b ドップラーシフト法による連星系の系外惑星探査 豊田英里 (神戸大学)	
	P69c 日中共同 G 型巨星惑星探しと興隆観測所 2.1m 望遠鏡用ヨードセルの開発 佐藤文衛 (国立天文台)	
11:24	P70b 大気波動の吸収線への影響から探る hot Jupiter の大気構造 福江 翼 (京都大学)	

Q. 星間現象

10月6日(木) 午前・D会場			
10:00	Q01a M17 領域における [CII] 輝線高速度成分 永井 誠 (東京大学)	11:36	Q12b 大学連携 VLBI による 22GHz 帯観測 : IRAS 06061+2151 の H ₂ O メーザー観測 渡邊祥正 (北海道大学)
10:12	Q02a 形成初期の暗黒星雲コアにおける微細構造と化学的不均一の探求 前澤裕之 (名古屋大学)	11:36	Q13b 銀河系外縁部の水メーザー源 : 分子線観測 望月奈々子 (宇宙航空研究開発機構)
10:24	Q03a Survey of molecular clouds in the LMC by NANTEN: GMC properties and star formation 河村晶子 (名古屋大学)	11:48	Q14b 3次元 PDR モデル計算による C ⁰ 分布に対する密度構造・化学進化の寄与 久保井信行 (東京大学)
10:36	Q04a ASTE,SEST によるマゼラン雲の観測 水野陽治 (名古屋大学)	11:48	Q15b 乱流による二相星間ガスの混合について 小山 洋 (神戸大学)
10:48	Q05a 銀河系中心方向における新たな分子雲複合体の検出 福井康雄 (名古屋大学)	11:48	Q16b 希薄プラズマにおける磁気回転不安定性の詳細解析 大橋昌史 (京都大学)
11:00	Q06a 銀河面に沿った巨大分子雲の分布 大西利和 (名古屋大学)		Q17c 超新星残骸 G156.2+5.7 の ASCA および XMM-Newton 衛星による X線観測 植野 優 (東京工業大学)
11:12	Q07a ¹² CO(J=1-0) と ¹³ CO(J=1-0) による、巨大分子雲の観測 藤下基線 (名古屋大学)		
11:24	Q08b 「なんてん」銀河面サーベイによる第4象限における巨大分子雲の分布 山岡健太郎 (名古屋大学)		
11:24	Q09b ペガスス座方向の大規模ループ構造に対する ¹³ CO(J=1-0) 輝線観測 山本宏昭 (名古屋大学)		
11:24	Q10b Polaris cirrus 中の分子雲コアのマルチライン観測 櫻井冬子 (東京学芸大学)		
11:36	Q11b すばる望遠鏡とハワイ大学 2.2m 望遠鏡によるカニ星雲の近赤外観測 山本幹生 (宮崎大学)		
		10月6日(木) 午後・D会場	
		13:00	Q18a 星間雲とそれを取り巻く星雲間ガスを繋ぐ遷移層の安定性の解析 井上剛志 (京都大学)
		13:12	Q19a 低温 HI 雲の成長速度の理論的解析 長島雅裕 (京都大学)
		13:24	Q20a 輻射輸送計算による暗黒星雲の散乱光の見積もり III 福原和晴 (北海道大学)
		13:36	Q21a 密度勾配中の電離、解離領域の伝播 - A Model for Sharpless 219 - 細川隆史 (国立天文台)

13:48	Q22a 超新星残骸における磁場生成の Weibel モデル 加藤恒彦 (国立天文台)	16:48	Q32a 超新星 ejecta 中で形成されたダストはリヴァース衝撃波によって破壊されるか？ 野沢貴也 (北海道大学)
14:00	Q23a 銀河中心領域の Diffuse な非熱的放射の観測 千田篤史 (理化学研究所)	17:00	Q33a SDSS 銀河データを用いたダスト吸収マップの検証 矢幡和浩 (東京大学)
14:12	Q24a RXTE による銀河面リッジ硬 X 線放射分布の解析 (2) 高橋拓也 (広島大学)	17:12	Q34a H-D 置換反応による星間塵上でのメタノールの重水素濃集過程 長岡明宏 (北海道大学)
14:24	Q25a 超新星残骸 G266.2-1.2(Vela Jr.) の距離について 川瀬徳一 (名古屋大学)	17:24	Q35a Spitzer Space Telescope による Carina 領域の中間赤外分光観測 岡田陽子 (東京大学)
14:36	Q26a XMM-Newton 衛星を用いた超新星残骸 RX J0852-4622 北西部の衝撃波面における詳細解析 岸下徹一 (宇宙航空研究開発機構)	17:36	Q36a 炭素質物質 (QCC) のホトルミネッセンス量子収率の測定 水谷芳宏 (電気通信大学)
14:48	Q27a XMM-Newton による超新星残骸 VRO 42.05.01 の観測 森 浩二 (宮崎大学)	17:48	Q37a 塵とプラズマガスの反応-再凝縮してできる塵の性質 和田節子 (電気通信大学)
10月6日 (木) 午後・D 会場			
16:00	Q28a Chandra 衛星による HII 領域 RCW89 の高解像観測 谷津陽一 (東京工業大学)	18:00	Q38a 斜長石結晶の赤外吸収スペクトル II ~ 未同定 48 μm feature はアノサイトか？ 茅原弘毅 (大阪大学 / 京都薬科大学)
16:12	Q29a XMM-Newton による大マゼラン雲内のスーパーバブル N44 の観測 中嶋 大 (京都大学)	18:12	Q39a オリヴィン微粒子の中間赤外から遠赤外スペクトルの形状効果および温度効果 III 小池千代枝 (京都薬科大学)
16:24	Q30a XMM-Newton による大マゼラン星雲中の超新星残骸 DEM L241 の詳細観測 馬場 彩 (理化学研究所)	18:24	Q40a コンドライト組成を持つアモルファスシリケートの結晶化に伴う赤外吸収スペクトルの変化 村田敬介 (大阪大学)
16:36	Q31a <i>Chandar</i> による大マゼラン星雲中の超新星残骸 SNR 0506 - 68.0 の観測 早藤麻美 (東京理科大学 / 理化学研究所)		

R. 銀河

10月6日(木) 午前・B会場			
10:00	R01a Subaru Deep Field における $z \sim 4-5$ の Lyman-break 銀河の測光的性質 II 吉田真希子 (東京大学)	11:36	R11a Observational Pursuit for Population III Stars in a Ly α Emitter at $z=6.33$ through HeII Emission 長尾 透 (アルチェトリ天文台/国立天文台)
10:12	R02a Subaru Deep Field における i' -dropout 銀河の撮像+分光サーベイ 太田一陽 (東京大学)	11:48	R12a COSMOS フィールドにおける H α 輝線天体探査 塩谷泰広 (東北大学)
10:24	R03a Subaru Super Deep Field II. 遠方銀河のサイズ、形態の観測的研究 美濃和陽典 (東京大学)		
10:36	R04a ライマンブレイク銀河のクラスタリングスケール依存性 柏川伸成 (国立天文台)	10月6日(木) 午後・B会場	
10:48	R05a すばる XMM ディープフィールドにおける $z \sim 2$ までの星質量形成史 藤代尚文 (東京大学)	13:00	R13a Mass – metallicity relation of <i>BzK</i> -selected galaxies at $z \sim 2$ 小野寺仁人 (東京大学/国立天文台)
11:00	R06b UKIRT/WFCAM による Subaru Deep Field の近赤外撮像観測 吉田真希子 (東京大学)	13:12	R14a E+A 銀河はダストに隠されたスターバースト銀河か? 後藤友嗣 (宇宙航空研究開発機構)
11:00	R07b SDSS1044-0125 フィールドにおける Strong Low- z emitters の研究 安食 優 (東北大学)	13:24	R15a Ly α Line Spectra of the First Galaxies in the Universe 小林正和 (京都大学)
11:00	R08b Spectroscopy of i' -Dropout Galaxies with an NB921-Band Depression in the Subaru Deep Field 長尾 透 (アルチェトリ天文台/国立天文台)	13:36	R16a すばる望遠鏡による超新星探査から探る超新星の発生頻度と MeV 領域の背景放射の起源 織田岳志 (京都大学)
11:12	R09a SXDF 領域における $z=3.1$ LAEs (Lyman α emitters) の光度関数 室園浩司 (東京大学)	13:48	R17a 初期宇宙での化石電離領域における Population III 星形成 長倉隆徳 (東京大学)
11:24	R10a $z \sim 3-5$ における広がった Ly α 輝線天体の系統的探査 (2): 高分散分光 斎藤智樹 (東京大学)	14:00	R18a 宇宙再電離期における電離波面の伝播: 電離光子源に対する依存性 廣居久美子 (筑波大学)
		14:12	R19a 高赤方偏移での HII/HeII 領域の構造 吉田直紀 (名古屋大学)
		14:24	R20a 原始銀河形成に対する超新星爆発の影響 北山 哲 (東邦大学)

14:36	R21a 高赤方偏移ガンマ線バースト残光の宇宙再電離に対する寄与 広瀬意育 (筑波大学)	16:48	R31b 銀河系円盤外縁部における矮小銀河起源の散開星団の探査 長谷川 隆 (県立ぐんま天文台)
14:48	R22b GRB030329 母銀河における分子ガス量の定量 遠藤 光 (東京大学)	16:48	R32b 近傍孤立銀河周辺部の矮小銀河探策 III 西浦慎悟 (東京学芸大学)
14:48	R23b 輻射流体計算による初代星の輻射フィードバックの研究 須佐 元 (立教大学)	16:48	R33b CFHT/MegaCam によるヘルクレス座銀河団の矮小銀河の観測 川崎 渉 (国立天文台)
14:48	R24b 遠方原始銀河候補天体の Cl 禁制スペクトル線探査 岡 朋治 (東京大学)	17:00	R34a 渦巻銀河におけるパターン速度と星形成時間の決定 江草英実 (東京大学)
15:00	R25a 野辺山ミリ波干渉計による高赤方偏移星形成銀河の [Cl](1 - 0) および CO(4 - 3) 輝線探査 田村陽一 (東京大学)	17:12	R35a 近傍銀河の分子ガス密度と星形成率 小麦真也 (東京大学)
15:12	R26b 銀河の恒星質量に対する色分布の進化 鍛冶澤 賢 (国立天文台)	17:24	R36a 銀河系中心領域の内部構造 西山正吾 (名古屋大学)
10月6日 (木) 午後・B会場		17:36	R37b 近赤外サーベイ観測から探る銀河系中心領域での若い星の分布 村井優香 (京都大学)
16:00	R27a すばるの主焦点カメラで探る Leo II の生い立ち 小宮山裕 (国立天文台)	17:36	R38b IRSF マゼラン雲近赤外カタログの公開 加藤大輔 (名古屋大学)
16:12	R28a 矮小銀河 NGC1569 の中間赤外撮像分光観測 戸倉大輔 (東京大学)	17:36	R39b Spitzer 宇宙望遠鏡で検出された中間赤方偏移銀河の K バンドによる形態分類 土屋武也 (東京工業大学)
16:24	R29a Blue Compact Dwarf galaxy VII Zw403 の X 線観測 宮内智文 (大阪大学)	17:48	R40b 楕円銀河 NGC596 のディスク成分の色指数 水野孝雄 (東京学芸大学)
16:36	R30a すばる COMICS の中間赤外観測に基づく矮小銀河 He2-10 の性質 左近 樹 (東京大学)	17:48	R41b アンドロメダ銀河ハローの観測による銀河形成史 I 田中幹人 (国立天文台 / 東京大学)
		17:48	R42b M 31 disk 領域における GMA の内部構造 II 濤崎智佳 (国立天文台)

		10月7日(金) 午前・B会場	
18:00	R43b SMA Observations of CO 2-1 Emission in Central Region of NGC 4258 澤田・佐藤聡子(台湾中央研究院)	09:00	R52a <i>Spitzer</i> を用いた starburst 銀河の中間赤外分光観測 田尻愉香(京都大学)
18:00	R44b 渦巻銀河ガスディスクの中心集中生成機構 小野寺幸子(東京大学)	09:12	R53a ASTE による棒渦巻銀河 M83 の CO(3-2) 輝線広域観測: CO(3-2)/(1-0) 比から探るガスの密度変化と星形成 村岡和幸(東京大学)
18:00	R45b おとめ座銀河団銀河の CO・HI 観測 中西裕之(国立天文台)	09:24	R54a A massive black hole binary and nuclear star burst 松井秀徳(北海道大学)
18:12	R46b High Velocity Cloud の起源 沢 武文(愛知教育大学)	09:36	R55a 棒渦巻銀河 Maffei2 の中心部における分子ガスの分布と運動 久野成夫(国立天文台)
18:12	R47b 銀河定数 R_0 、 Θ_0 の推定を目的とした電波位置天文観測について 須田浩志(東京大学)	09:48	R56a SDSS を用いた銀河の棒状構造の解析: 種族合成法による年齢決定 神川えりか(東北大学)
18:12	R48b 散開星団を用いた銀河系ウォープのパターン速度に関する制限 坂本 強(国立天文台)	10:00	R57a スターバースト銀河 NGC253 内の星間分子雲の近赤外吸収線観測 中川貴雄(宇宙航空研究開発機構)
	R49c SCF 法による 3次元円盤とバルジから成る系のシミュレーション 穂積俊輔(滋賀大学)	10:12	R58a スターバースト銀河 M82 の可視偏光分光観測 吉田道利(国立天文台)
	R50c 銀河円盤に冷たい暗黒物質微細構造が与える力学的効果 林 寛人(東北大学)	10:24	R59a Chandra衛星によるスターバースト銀河 NGC 1808 の研究 平家和憲(愛媛大学)
	R51c 超新星フィードバックによる質量放出に伴うディスク銀河の力学応答 小山博子(早稲田大学)	10:36	R60a アンテナ銀河をはじめとするスターバースト銀河の X線連星系の観測 宮本将雄(東京理科大学)
			R61c Modelling "The Antennae" (NGC 4038/39) Chan, Steting(東京大学)
		10:48	R62a 熱的赤外線 Lバンド分光による、赤外線銀河中に埋もれた AGN の検出 今西昌俊(国立天文台)

11:00	R63a 赤外線銀河 NGC 6240 の可視偏光分光観測 大山陽一 (宇宙航空研究開発機構)	14:30	R73b やまねこ座超銀河団領域における大規模構造探査 仲田史明 (国立天文台)
11:12	R64a アンモニア吸収線による超高光度赤外線銀河 Arp220 での高速ガスの検出 高野秀路 (国立天文台)	14:30	R74b 銀河磁場内における高エネルギー宇宙線の拡散とドリフトによる伝播過程 荒木田英禎 (国立天文台)
11:24	R65b XMM-Newton 衛星による近傍渦巻銀河の観測 島田 悟 (東京理科大学)	14:30	R75b セイファート銀河中心核の、近赤外線 K バンド分光観測 今西昌俊 (国立天文台)
11:24	R66b スターバースト銀河 NGC253 の電波スーパーバブルと X 線放射の関係 松本浩典 (京都大学)	14:42	R76a The role of AGN feedback in galaxy formation 岡本 崇 (国立天文台)
11:24	R67b スターバースト銀河 M82 の高温プラズマの元素組成比 松下恭子 (東京理科大学)	14:54	R77a 高赤方変移 X 線 AGN の母銀河の星形成率と星質量 秋山正幸 (国立天文台)
10月7日 (金) 午後・B会場		15:06	R78a 紫外・可視の Fe II 輝線と光電離モデル、衝突励起モデルとの比較 続 唯美彦 (東京大学)
13:30	R68a PISCES プロジェクトー銀河団進化と銀河進化の連携ー 児玉忠恭 (国立天文台)	10月8日 (土) 午前・B会場	
13:42	R69a RXJ0152.7 - 1352 銀河団 (z=0.83) の分光観測 田中賢幸 (東京大学)	09:00	R79a 衛星銀河の進化 藤井通子 (東京大学)
13:54	R70a CL0016 銀河団 (z 0.55) に付随するサブクランプの分光観測 星 貴子 (明星大学)	09:12	R80a 紫外線輻射場内での球状星団形成 II. 星団の力学的進化 長谷川賢二 (筑波大学)
14:06	R71a RXJ0152.7 - 1352 銀河団中心における z=3.9 銀河の重力レンズ多重像の発見 梅津敬一 (ASIAA (Taiwan))	09:24	R81a 潮汐場における球状星団の崩壊：親銀河の局所的な密度勾配の影響 谷川 衝 (東京大学)
14:18	R72a 「うみへび座第 1 銀河団 (Abell 1060)」における銀河光度関数の研究 山野井 瞳 (総合研究大学院大学)		R82c コア崩壊前の球状星団の初期条件 高橋広治 (埼玉工業大学)
		09:36	R83a <i>Newton</i> 衛星による X 線で暗い楕円銀河の高温ガスの重元素組成比の解析 戸塚 都 (広島大学)

		10月8日(土) 午後・B会場
09:48	R84a Spitzer 衛星による X 線で明るい近傍楕円銀河の中間赤外線分光観測 金田英宏 (宇宙航空研究開発機構)	13:30 R96a 赤外線天文衛星 ASTRO-F による北黄極大規模サーベイ計画 大藪進喜 (宇宙航空研究開発機構)
10:00	R85b XMM-newton と Chandra による楕円銀河の重力質量分布 薙野 綾 (東京理科大学)	13:42 R97a ASTRO-F による銀河の近中間赤外線スリットレス分光サーベイ計画 和田武彦 (宇宙航空研究開発機構)
10:00	R86b 階層的銀河形成モデルを用いた楕円銀河の重元素組成の解析 長島雅裕 (京都大学)	13:54 R98a ASTRO-F による遠赤外広域ディープサーベイ計画 松浦周二 (宇宙航空研究開発機構)
10:00	R87b すばるの主焦点カメラによる M87 周辺領域の広域球状星団探査 田村直之 (University of Durham)	R99c ASTRO-F/NEP Deep Suevey 領域における銀河のナンバーカウント 今井弘二 (総合研究大学院大学)
10:12	R88a 楕円銀河の形成と年齢・金属量勾配 山田善彦 (国立天文台)	14:06 R100a 銀河スケール平均ダスト減光則モデル 井上昭雄 (大阪産業大学)
10:24	R89a 銀河系ハローは一様であったのか？ - α ・鉄族元素と r 過程元素の違い 石丸友里 (工学院大学)	14:18 R101a 原始銀河の電波放射モデル 平下博之 (筑波大学)
10:36	R90a 宇宙および銀河の化学力学進化と極超新星の寄与 小林千晶 (Max-Planck-Institute for Astrophysics (MPA))	14:30 R102a 重力レンズ銀河の環境と重力レンズの分離角分布 大栗真宗 (Princeton University)
10:48	R91a 宇宙シミュレータ FIRST : 1. クラスタ性能 梅村雅之 (筑波大学)	14:42 R103a クェーサー形成の環境依存性 榎 基宏 (国立天文台)
11:00	R92a 宇宙シミュレータ FIRST : 2. Blade-GRAPe 性能 諏訪多聞 (筑波大学)	
11:12	R93a PCI-X 用 GRAPE インターフェース G6X の開発 台坂 博 (国立天文台)	
11:24	R94b x86 の拡張命令セットを用いた高速な重力相互作用計算ライブラリ 似鳥啓吾 (東京大学)	
11:24	R95b 天の川創成プロジェクト零号機の開発 II 斎藤貴之 (国立天文台)	

S. 活動銀河核

10月8日(土) 午前・D会場			
09:00	S01a 降着円盤によって駆動される非局所的電磁ジェットモデル 鏑木 修 (山口大学)	11:00	S13b CO 回転振動遷移の吸収線を用いた AGN 分子トーラスの直接観測 (II) 白旗麻衣 (宇宙航空研究開発機構)
09:12	S02b Radiative Flow in the Luminous Disk 福江 純 (大阪教育大学)	11:00	S14b Evolution of Broad Emission-Line Flux Ratios of the SDSS Quasars 長尾 透 (アルチェトリ天文台/国立天文台)
09:12	S03b Radiation from Magnetosonic Shocks around Kerr Black Holes 高橋 勇太 (東京大学)	11:00	S15b 狭輝線アークから得られた狭輝線放射領域のサイズ 米原厚憲 (東京大学)
09:12	S04b 複合アレーによる活動銀河核 M 87 のジェットの観測 浅田圭一 (国立天文台)	11:12	S16b Seyfert 銀河における X 線反射成分を用いた鉄輝線放射領域の密度推定 大野雅功 (広島大学)
09:24	S05a FR II 型電波銀河ジェットの全パワーと年齢 伊藤裕貴 (早稲田大学)	11:12	S17b Subaru Deep Field 領域における Subaru/Suprime-Cam を用いた変光 AGN 探査 諸隈智貴 (東京大学)
09:36	S06a 若い活動銀河核電波源の成長と進化 川勝 望 (SISSA)	11:12	S18b SDSS によるクエーサーペアの探索 大栗真宗 (Princeton University)
09:48	S07a 若い電波銀河のシンクロトロン放射損失 永井 洋 (総合研究大学院大学)	11:24	S19b 宇宙ガンマ線バックグラウンドにおける FR I 電波銀河ジェットの寄与 片岡 淳 (東京工業大学)
10:00	S08a Centaurus A の X 線ジェット断面図: 速度の二層構造と宇宙線加速への示唆 片岡 淳 (東京工業大学)		S20c XMM-Newton 衛星による低光度活動銀河の時間変動解析 栗木久光 (愛媛大学)
10:12	S09a Blazar Mkn501 の長い周期性の研究 大曾根聡子 (産業技術総合研究所)		S21c An Intermediate Imaging Survey for Quasars: MAHORоба-11 佐々木俊二 (東北大学)
10:24	S10a 銀河系中心 1pc 以内の一酸化珪素メーザー源の位置と固有運動計測 II 小山友明 (国立天文台)	10月8日(土) 午後・D会場	
10:36	S11a NGC6240 における HI/OH 吸収線の VLA 観測 萩原喜昭 (国立天文台)	13:30	S22a NGC 4258 水メーザー円盤の渦状構造 山内 彩 (国立天文台)
10:48	S12a ブレーザーのガンマ線光度関数の宇宙論的進化と未同定天体の起源 成木拓朗 (京都大学)		S23c Radio continuum and water vapor maser monitoring observations toward NGC 6240 中西康一郎 (国立天文台)

T. 銀河団

		10月7日(金) 午前・D会場
13:42	S24a Radio-loudness とブラックホール質量と降着率の関係 土居明広 (山口大学)	09:00 T01a 銀河団中心部における重元素の空間分布・組成比の系統的解析 川埜直美 (広島大学)
13:54	S25a 電波銀河のトースによる光電吸収量 木村俊介 (宇宙航空研究開発機構)	09:12 T02a 重元素の空間分布から探る銀河団の進化 川原田 円 (東京大学)
14:06	S26a AO で観測された NGC 1068 中心核周囲のダスト分布 友野大悟 (国立天文台)	09:24 T03a 銀河団ガスに含まれる鉄の質量と銀河光度の比の研究 池田真行 (東京理科大学)
14:18	S27a MAGNUM プロジェクト 1.1型活動銀河核の赤外波長域変動成分解析 富田浩行 (東京大学)	09:36 T04a XMM-Newton 衛星で観測された銀河団ガスの重元素組成比 松下恭子 (東京理科大学)
14:30	S28a MAGNUM プロジェクト 2. NGC4395 の 1 年スケールの変光現象 峰崎岳夫 (東京大学)	09:48 T05b 銀河団周辺の soft excess は存在するか? 松下恭子 (東京理科大学)
14:42	S29a 低電離中心核輝線領域 NGC 1052 における可視輝線放射ガスの 1 秒角を切る構造と速度場 菅井 肇 (京都大学)	09:48 T06b XMM-Newton 衛星による銀河群 HCG57 の観測 江川千尋 (広島大学)
14:54	S30a セイファート銀河 NGC7319 の狭輝線領域の電離メカニズム 橋本哲也 (東京大学)	09:48 T07b XMM-Newton 衛星による銀河団の X 線観測 茅野真裕 (東京理科大学)
15:06	S31a OI 輝線強度比から示唆される、AGN の FeII 放射領域の物理状態 松岡良樹 (東京大学)	10:00 T08b 銀河団ガスのダイナミクスに与える磁場の影響 永田 健 (京都大学)
15:18	S32a BAL QSO SDSS J0839+3805 における H α 吸収線の発見 青木賢太郎 (国立天文台)	10:00 T09b 低表面輝度の X 線銀河団の観測 片山晴善 (宇宙航空研究開発機構)
15:30	S33a 棒渦巻銀河が巨大ブラックホールを育てる?! - 狭輝線 Seyfert1 の母銀河 太田耕司 (京都大学)	10:00 T10b XMM-Newton 衛星による Abell 1060 銀河団の観測 早川 彰 (東京都立大学)
15:42	S34a 中間赤方偏移におけるブラックホール質量関数 田村直之 (University of Durham)	10:12 T11b 銀河団ガスとメンバー銀河の相対的な空間分布の進化 II 北口貴雄 (東京大学)
		10:12 T12b Chandra による高速で運動する cD 銀河を持つ銀河団の観測 藤田 裕 (国立天文台)

10:12	T13b 銀河団ガスの放射冷却と AGN の加熱エネルギーの比較 笹岡重樹 (東京理科大学)	14:18	T23a 磁気タワー型宇宙ジェットによる銀河団磁場形成 加藤成晃 (筑波大学)
10:24	T14a XMM-Newton 衛星で観測された銀河団 2A 0335+096 の力学的構造 田中 武 (名古屋大学)	14:30	T24a AGN 音波で銀河団コアを加熱できるか 藤田 裕 (国立天文台)
10:36	T15a XMM-Newton view of a very faint cluster of galaxies : Abell 194 Hudaverdi, Murat (名古屋大学)	14:42	T25a すばる望遠鏡による衝突銀河団の質量分布測定 岡部信広 (大阪大学)
10:48	T16a 銀河団ガスの非一様性と温度推定の系統誤差 河原 創 (東京大学)	14:54	T26a A1689 銀河団の質量分布は CDM 三軸不等楕円体質量モデルで説明できるか? 高田昌広 (東北大理)
11:00	T17a <i>Chandra</i> が明らかにした電波銀河 3C 438 を取り囲む高温銀河団 磯部直樹 (理化学研究所)	15:06	T27a A1689 の mass profile の縮退した fermionic dark matter による解釈 中島 紀 (国立天文台)
11:12	T18a 電波銀河 PKS 2356-61 による銀河団ガスの加熱 洪 秀徴 (埼玉大学 / 理化学研究所)		
10月7日 (金) 午後・D会場			
13:30	T19a Abell 1795 での銀河団の重力ポテンシャルの階層構造の検証 佐藤光浩 (東京大学)		
13:42	T20a 四重クエーサー SDSSJ1004+4112 の重力レンズ 銀河団からの X線検出 太田直美 (理化学研究所)		
13:54	T21a Non-equilibrium Ionization States of Warm-Hot Intergalactic Medium 吉川耕司 (東京大学)		
14:06	T22a 銀河団における超高エネルギー陽子加速に伴う硬 X線・ガンマ線放射 井上 進 (国立天文台)		

U. 宇宙論

10月6日(木) 午前・C会場		10月6日(木) 午後・C会場	
10:00	U01a 宇宙膨張論の検証 (その $V < 0.4 < z$ のクエーサーで、赤方偏移率と等級は相関が無い) 阿武靖彦	11:48	U12b コンパクト電波源をサンプルとする $\theta - z$ 関係とジェット統計について 岡島礼奈 (東京大学)
10:12	U02a 宇宙論的磁場の進化史の複合的な研究 山崎 大 (東京大学)		U13c Lagrange 的線形摂動論における1点分布関数の非ガウス性 立川崇之 (お茶の水女子大学)
10:24	U03a 中性水素の 21cm と高赤方偏移における原始磁場 田代寛之 (京都大学)		U14c 三点相関関数への赤方偏移歪みの影響 加用一者 (名古屋大学)
10:36	U04a $M-z$ Relation and CMB Anisotropies with Oscillating Scalar Field Having a Null Field Stage 平野耕一 (東京理科大学)		U15c 準解析モデルに基づく銀河の疑似カタログの定量化 上田晴彦 (秋田大学)
10:48	U05a 宇宙最初の暗黒物質ハロー形成とその対消滅ガンマ線による観測可能性 戸谷友則 (京都大学)		U16c 宇宙項をもつ Brans-Dicke モデルへの陽子 - 陽電子対消滅の影響 中村理央 (九州大学)
11:00	U06a 宇宙背景ガンマ線に於ける暗黒物質対消滅の寄与 安藤真一郎 (東京大学)		U17c A Toy Model for Relational Physics 中山薫二 (龍谷大学)
11:12	U07a 超高エネルギー宇宙線を用いた大規模構造の探査可能性 高見 一 (東京大学)	13:00	U18a 非一様宇宙を伝播する重力波波形の分散 高橋龍一 (国立天文台)
11:24	U08a 確率論的手法によるインフレーションゆらぎの非ガウス性の解析 服部 雄 (広島大学)	13:12	U19a Mapping gravitational-wave backgrounds with a space-based interferometer 樽家篤史 (東京大学)
11:36	U09b 宇宙論的スケールの磁場の起源について 花山秀和 (東京大学)	13:24	U20a 重力波の距離 - 赤方偏移関係による宇宙の非一様性への制限 柳 哲文 (大阪市立大学)
11:36	U10b 超新星によるダークエネルギーの制限と超新星の母銀河での減光の影響 田中陽平 (京都大学)	13:36	U21a 2dFQSO クラスタリングにおける四重極パワースペクトルの測定 中道将司 (広島大学)
11:36	U11b SDSS 望遠鏡を用いた超新星サーベイで予想される成果と意義 小西功記 (東京大学)	13:48	U22a スローンデジタルスカイサーベイ銀河分布のフーリエ位相解析 日影千秋 (名古屋大学)

V. 地上観測機器

		10月6日(木) 午後・G会場	
14:00	U23a SDSS 銀河の相関関数に現れる非等方性を用いた宇宙論的解析 奥村哲平 (名古屋大学)	13:00	V01a TAMA300 の現状 (16) 新井宏二 (国立天文台)
14:12	U24a Gravitationally Lensed Quasars from the Sloan Digital Sky Survey 稲田直久 (東京大学)	13:12	V02a Monitoring Non-Stationary Signals in an Interferometer 端山和大 (国立天文台)
14:24	U25a Loh & Spillar test による宇宙論パラメータの決定に関する理論的考察 田坂 守 (東京大学)	13:24	V03a 超高周波重力波検出器の現状 (1) 辰巳大輔 (国立天文台 / 日本大学)
14:36	U26a 宇宙論スケールでの Newton 重力の破れに対する SDSS からの観測的制限 II : 高次相関 白田晶人 (東京大学 / 東京工業大学)		V04c 光干渉計 MIRAI.2 の振動環境評価システム 鳥居泰男 (国立天文台)
14:48	U27a CMB と銀河分布の相互相関による宇宙論パラメータへの制限 西澤 淳 (名古屋大学)		V05c 30m 基線光赤外干渉計 MIRA-1.2、フリンジトラッキング対応、新型光遅延線 久保浩一 (国立天文台)
15:00	U28a CMB からの初期スペクトルの再構築に伴う宇宙論パラメータの制限 小合徳幸 (大阪大学)	13:36	V06a ガンマ線バースト可視光閃光観測システム「WIDGET」のデータ解析手法の確立 恩田香織 (埼玉大学)
		13:48	V07a MOA 新 1.8m 望遠鏡の調整および観測 神谷浩紀 (名古屋大学)
		14:00	V08a アタカマ 17 μ m 水素分子輝線検出計画：プロジェクト全体の概要 長田哲也 (京都大学)
			V09c アタカマ 17 μ m 水素分子輝線検出計画：ファブリペロー分光器の概要 長嶋千恵 (名古屋大学)
		14:12	V10b アタカマ 17 μ m 水素分子輝線検出計画：ファブリペロー分光器用低温精密ステージの開発 永山貴宏 (京都大学)
		14:12	V11b MOA II 望遠鏡専用カメラ MOA-Cam3 の較正と性能評価 吉岡 努 (名古屋大学)

14:12	V12b 「三つ目」岡山 50cm 望遠鏡の試験観測 II 柳澤顕史 (国立天文台)	16:36	V23a 天体分光用マルチプレックス VPH 回折格子による試験観測と性能評価 佐藤陽輔 (北海道大学)
14:24	V13b ビデオによるガンマ線バースト光学閃光探査 (TOTO) 大西浩次 (長野高専)	16:48	V24b 京都大学飛騨 SMART 望遠鏡搭載 Fabry-Perot フィルター性能評価 永田伸一 (京都大学)
14:24	V14b 可視光突発天体常時観測システムの構築 興石知宏 (青山学院大学)	16:48	V25b Cryogenic tests of Volume-Phase Holographic (VPH) gratings: Results at 100 K 田村直之 (University of Durham)
14:24	V15b Miyazaki Wide-field Monitor (MWM) の現状 (2) 杉原 将 (宮崎大学)	16:48	V26b IRCS 用広帯域低分散プリズムの開発 高遠徳尚 (国立天文台)
14:36	V16a 広島大学 1.5m 望遠鏡計画 IV: 望遠鏡移設改造と広視野撮像器開発 川端弘治 (広島大学)	17:00	V27b イメージスライサー分割鏡の試作 三ツ井健司 (国立天文台)
14:48	V17a 飛騨天文台 SMART 太陽全面マグネトグラフの機器偏光の測定とその結果 上野 悟 (京都大学)	17:00	V28b 中間赤外線イメージスライサーの開発 1. 光学設計 岡本美子 (茨城大学)
10月6日 (木) 午後・G会場			
16:00	V18a すばる望遠鏡 CCD 読み出し回路 Mfront2 中屋秀彦 (国立天文台)	17:00	V29b 赤外線観測用冷却チョッピング鏡の開発 酒向重行 (東京大学)
	V19c 完全空乏型 CCD の開発 (5) 鎌田有紀子 (国立天文台)	17:12	V30a 差分型ステラコロナグラフの実験 佐藤陽一郎 (北海道大学)
	V20c すばる望遠鏡の次世代広視野カメラの検討 宮崎 聡 (国立天文台)	17:24	V31a すばるレーザーガイド星補償光学系プロジェクト 高見英樹 (国立天文台)
16:12	V21a 半導体微細加工技術による多天体分光用マイクロシャッタアレイの開発 高橋巧也 (東京大学)	17:36	V32a すばるレーザーガイド星補償光学系プロジェクト: レーザーガイド星生成システムの開発の現状 早野 裕 (国立天文台)
16:24	V22a 分布屈折率レンズを用いた三次元天体分光観測用イメージスライサーの開発 山下雅史 (北海道大学)	17:48	V33a すばるレーザーガイド星補償光学系プロジェクト: 589nm 高出力周波レーザーの開発 (3) 齊藤嘉彦 (国立天文台)

18:00	V34a すばるレーザーガイド星補償光学系プロジェクト：すばる LGSAO 用高出力レーザーを用いた SBS 発生の検証 伊藤 周 (東京大学)	09:36	V44a 近赤外高分散分光器「WINERED」の開発：光学設計 池田優二 (株式会社ジェネシア)
18:12	V35b すばるレーザーガイド星補償光学系プロジェクト：ナスミス AO モジュールの開発 渡辺 誠 (国立天文台)	09:48	V45b 近赤外高分散分光器「WINERED」の開発：アレイ検出器読出システム 近藤荘平 (東京大学)
	V36c 補償光学系の動作パラメータの自動最適化システムの研究と開発 服部雅之 (国立天文台)	09:48	V46b 西はりま天文台 可視光撮像装置 尾崎忍夫 (兵庫県立西はりま天文台)
18:12	V37b MOIRCS 撮像データの解析における諸課題と対策 田中 壱 (東北大学)	09:48	V47b 西はりま天文台 可視光分光器の現状 尾崎忍夫 (兵庫県立西はりま天文台)
18:12	V38b FMOS (すばる望遠鏡主焦点多天体分光器) の開発 IX：PIR の初期成果 木村仁彦 (京都大学)	10:00	V48b 美星天文台 分光器の新 CCD カメラシステム 川端哲也 (美星天文台)
18:24	V39b すばる望遠鏡公開データアーカイブシステム SMOKA の新機能開発 吉野 彰 (国立天文台)	10:00	V49b すばる望遠鏡 定常シーイングモーターの設置 浦口史寛 (国立天文台)
10月7日 (金) 午前・G会場			
09:00	V40a 中間赤外線高分散分光装置 IRHS：分光系性能評価 岡 知路 (名古屋大学)	10:00	V50b 広島大学 1.5m 望遠鏡計画における DIMM の開発と測定 千代延真吾 (広島大学)
	V41c 中間赤外線高分散分光観測装置 IRHS：撮像系性能評価 所 仁志 (名古屋大学)	10:12	V51b DIMM による木曾観測所 seeing 測定～中間報告～ 磯貝瑞希 (東京大学)
09:12	V42a Feasibility Study for a 8-25 μ m High-resolution Spectrograph for the Thirty-Meter Telescope Tokunaga, Alan (Institute for Astronomy, University of Hawaii)	10:12	V52b 岡山天体物理観測所環境モニタの現状とシーイング統計 岩田 生 (国立天文台)
09:24	V43a 近赤外高分散分光器「WINERED」の開発 小林尚人 (東京大学)	10:12	V53b ラジコン飛行機を用いた気温の鉛直分布測定 浦口史寛 (国立天文台)

		10月7日(金) 午後・G会場
10:24	V54a ALMA の建設 (3) 長谷川哲夫 (国立天文台)	13:30 V66a ALMA Band 8 受信機のシステム デザイン 関本裕太郎 (国立天文台)
10:36	V55a ALMA Band 4 受信機開発の進捗 状況 (IV) 浅山信一郎 (国立天文台)	13:42 V67a A Low Noise SIS Mixer for ALMA Band 8 Shan, Wenlei (国立天文台)
10:48	V56b ALMA プロトタイプ 12m アンテナ の鏡面精度評価 齋藤正雄 (国立天文台)	13:54 V68a Atacama Compact Array フロン トエンドシステムの開発 杉本正宏 (国立天文台)
	V57c 地震加速度センサーを用いたアンテ ナ振動測定 浮田信治 (国立天文台)	14:06 V69b ALMA バンド 8 受信機 量産ミクサ 用試験装置の開発 伊藤哲也 (国立天文台)
10:48	V58b ALMA Band 4 用 2SB ミクサ開発 の進捗状況 藤井琢也 (国立天文台)	14:06 V70b ALMA Band8 QM (Qualification Model) 受信機の雑音温度測定およ び IF 特性測定 飯塚吉三 (国立天文台)
10:48	V59b ALMA Band 4 SIS 素子の DC I-V カーブによる選別手法の確立 高橋敏一 (国立天文台)	14:06 V71b ALMA band 8 QualificationModel 受信機 ゲイン安定性の評価試験 神庭利彰 (国立天文台)
11:00	V60b ALMA Band 4 SIS ミクサ用バイア ス回路の開発 (6 線式) 鈴木孝清 (国立天文台)	14:18 V72b ALMA Band8 2SB 受信機における Image Rejection Ratio 測定 富村 優 (東京大学)
11:00	V61b ALMA Band 4 カートリッジの詳 細デザイン 稲田素子 (国立天文台)	14:18 V73b ALMA BAND8 受信機 光学系スト ラクチャーの熱収縮解析 佐藤直久 (国立天文台)
11:00	V62b ALMA Band4 カートリッジ型受信 機の有限要素解析 原 和義 (大阪府立大学)	14:18 V74b ALMA band 8 受信機カートリッジ の真空度 芹澤靖隆 (東京大学)
11:12	V63b 傾斜回転テーブルを用いた ALMA カートリッジ組立及び測定 鈴木和司 (名古屋大学)	14:30 V75b ALMA Band 8 受信器 OMT の開発 神蔵 護 (東京大学)
11:12	V64b ALMA Band 4 受信機測定系の開 発状況 原田直彦 (国立天文台)	14:30 V76b Recent Progress on ALMA Band 10 Shitov, Sergey V. (国立天文台 / IREE)
11:12	V65b ALMA バンド 4 受信機光学系の ビームパターン測定装置の開発状況 岩下浩幸 (国立天文台)	14:30 V77b Atacama Compact Array における 7m電波望遠鏡用受信機光学系の設計 木村公洋 (大阪府立大学)

14:42	V78a ALMA/ACA のサイエンスプランの検討概要 川辺良平 (国立天文台)	09:48	V89b 200GHz 帯 2SB 受信機搭載 60cm 電波望遠鏡:バックエンド部の開発 海田正大 (東京学芸大学)
14:54	V79a ALMA による SZ 効果観測のイメージングシミュレーション 山田健吉 (東邦大学)	09:48	V90b 200GHz 帯 2SB 受信機搭載 60cm 電波望遠鏡:制御ソフトのLinux化 半田利弘 (東京大学)
15:06	V80a ALMA12m アンテナの Total Power 観測法について Vila-Vilaro, Baltasar(国立天文台)	10:00	V91a 2m 電波望遠鏡の開発 小川英夫 (大阪府立大学)
15:18	V81a 183GHz ラジオメータを利用した波面揺らぎ検出による ACA 位相補償の提案 朝木義晴 (宇宙航空研究開発機構)	10:12	V92b 2m 電波望遠鏡:主鏡の開発 東狐義秀 (大阪府立大学)
10月8日(土) 午前・G会場		10:12	V93b 2m電波望遠鏡光学系の開発 辻 企世子 (大阪府立大学)
09:00	V82a Photonic 位相校正装置の提案 (概要と遅延校正部) 木内 等 (国立天文台)	10:12	V94b バランスドミクサのスケールモデル実験 小嶋崇文 (大阪府立大学)
09:12	V83a Photonic 位相校正装置の提案 (サブミリ波帯アンテナ放射部) 山田真澄 (国立天文台)	10:24	V95a ASTE プロジェクトの進捗と現状:共同観測研究プログラムの開始 江澤 元 (国立天文台)
09:24	V84a ALMA-ACA のキャリブレーションのためのサイト調査プラン 阪本成一 (国立天文台)	10:36	V96a ASTE 搭載 8Gsp/s 1bitAD 変換器の評価 奥田武志 (東京大学)
09:36	V85b ALMA サイトの電波シーイングモニタで観測された赤道プラズマバブル 石崎秀晴 (国立天文台)	10:48	V97b ASTE 搭載 345GHz 帯サブミリ波受信機の高効率化と光学設計 廿日出文洋 (東京大学)
09:36	V86b ALMA のための絶対強度較正法の構築 関口朋彦 (国立天文台)	10:48	V98b ASTE 搭載サブミリ波カメラの開発 VI 守 裕子 (総合研究大学院大学)
09:36	V87b 野辺山ミリ波干渉計による flux 精度検定実験 (II) 田村陽一 (東京大学)	10:48	V99b マルチフーリエ天体干渉計による天体試験観測 大田 泉 (国立天文台)
09:48	V88b 200GHz 帯 2SB 受信機搭載 60cm 電波望遠鏡:フロントエンド部の開発 中島 拓 (大阪府立大学)	11:00	V100b 電波天文に最適な高速 FFT ライブラリの開発 竹内 央 (情報通信研究機構)
		11:00	V101b 野辺山 45m 鏡とミリ波干渉計のデータ結合 黒野泰隆 (東京大学)

		10月8日(土) 午後・G会場
11:00	V102b 野辺山強度偏波計群のデータ収集システムのLinux化 川島 進 (国立天文台)	13:30 V113a NANTEN2 電波望遠鏡観測システムの開発：観測装置の立ち上げ 笹子宏史 (名古屋大学)
11:12	V103b 衛星電波を用いた野辺山45m望遠鏡のリアルタイムポインティング測定 春日 隆 (法政大学)	13:42 V114a NANTEN2 計画：受信器の開発 竹内友岳 (名古屋大学)
11:12	V104b 野辺山における最近の電波環境、第三代移動通信システムの弊害 篠原徳之 (国立天文台)	V115c アタカマ高地に移設されたNANTEN2望遠鏡II 水野範和 (名古屋大学)
11:12	V105b 那須1.4GHzトランジェント天体サーベイ定常観測におけるBPFソフトウェアを用いた天体強度の決定 松村寛夫 (早稲田大学)	13:54 V116a 北海道大学11m電波望遠鏡の遠隔操作観測 西谷洋之 (北海道大学)
11:24	V106b 那須パルサー観測所におけるトランジェント天体データ解析報告 貴田寿美子 (早稲田大学)	V117c 北海道大学11m電波望遠鏡の監視系制御 保坂啓太 (北海道大学)
11:24	V107b 那須パルサー観測所受信機利得補正及び未同定 γ 線源の電波観測 新沼浩太郎 (早稲田大学)	14:06 V118a 800MHzナイキストサンプラーによるパルサー信号解析用アルゴリズム 大師堂経明 (早稲田大学)
	V108c 早大那須20m固定球面鏡2素子フリンジデータ自動解析ソフトの現状及び、トランジェント電波源のモニター観測 国吉雅也 (早稲田大学)	14:18 V119a 野辺山45m鏡メトロロジー機能の開発II：アンテナ変形と指向誤差の関係 廣田晶彦 (東京大学)
11:24	V109b アストロメトリの高精度化に向けた光結合測地VLBIの開発(その2) 高羽 浩 (岐阜大学)	14:30 V120a InP HBT素子を用いたKaバンド広帯域AD変換器の開発 川口則幸 (国立天文台)
	V110c 山口32m電波望遠鏡の光結合と観測計画 藤沢健太 (山口大学)	14:42 V121a 汎用計算機と汎用回線を用いたリアルタイムVLBIシステムの開発 木村守孝 (情報通信研究機構)
	V111c 光結合VLBIによる待ち受けサーベイ観測 山内 彩 (国立天文台)	14:54 V122a 光結合VLBI観測網の4局化とイメージング 須田浩志 (東京大学)
	V112c 超小型VLBI電波望遠鏡CARAVANの開発 久保木裕充 (情報通信研究機構)	15:06 V123a VERA水沢局10m-20mペアアンテナによる2ビーム位相較正検証実験 本間希樹 (国立天文台)

W. 飛翔体観測機器

10月6日(木) 午後・F会場	10月7日(金) 午前・F会場
17:12 W01a JASMINE (赤外線位置天文観測衛星) 計画の進捗状況 郷田直輝 (国立天文台)	09:00 W13b 43GHz 帯フィルムレンズアンテナの製作 氏原秀樹 (国立天文台)
17:24 W02b JASMINE における TDI モードを用いた星像中心位置決定 矢野太平 (国立天文台)	09:00 W14b FQPM コロナグラフと変形開口の組み合わせ法の性能評価 村上尚史 (国立天文台)
17:24 W03b JASMINE 計画のためのレーザー干渉計型高精度角度変動モニターの研究開発 丹羽佳人 (京都大学 / 国立天文台)	09:00 W15b SOLAR-B 搭載可視光・磁場望遠鏡の完成 末松芳法 (国立天文台)
17:24 W04b JASMINE - light ~小型化への取り組み~ 山田良透 (京都大学)	09:12 W16b DIOS 衛星搭載用 4 回反射型 X 線望遠鏡 FXT の開発 -IV 田原 譲 (名古屋大学)
17:36 W05b Nano-JASMINE (超小型 JASMINE) 計画の進捗 菅沼正洋 (国立天文台)	09:12 W17b 大型国際 X 線望遠鏡計画 XEUS とその光学系 内藤聖貴 (名古屋大学)
17:36 W06b Nano-JASMINE : TDI 制御とオンボード処理 山内雅浩 (東京大学 / 国立天文台)	09:12 W18b X-mas 望遠鏡による撮像実験 北本俊二 (立教大学)
17:48 W07a 月面での低周波電波観測 野田寛大 (国立天文台)	09:24 W19b ピーニング加工による X 線望遠鏡用反射鏡の製作 窪田 廉 (首都大学東京)
18:00 W08a 月面-地球間低周波電波干渉計システムの検討 岩田隆浩 (宇宙航空研究開発機構)	09:24 W20b 全天 X 線監視装置 MAXI/GSC の封入ガス、Xe-L 殻吸収端におけるゲインの不連続性の定量的見積もり 宮川雄大 (青山学院大学)
18:12 W09a VSOP-2 計画の現状 平林 久 (宇宙航空研究開発機構)	09:24 W21b 国際宇宙ステーション搭載全天 X 線監視装置 MAXI/GSC エネルギー応答関数の構築 土屋雄一郎 (青山学院大学)
18:24 W10b VSOP-2 計画の衛星開発の現状 村田泰宏 (宇宙航空研究開発機構)	09:36 W22c 硬 X 線対応微細マルチコリメータの開発 平賀純子 (宇宙航空研究開発機構)
18:24 W11b VSOP-2 衛星主鏡面用メッシュの反射特性の検討 氏原秀樹 (国立天文台)	09:36 W23b 大空乏層厚透過型 CCD を用いた新しいコンプトンカメラの開発 高木慎一郎 (京都大学)
W12c VSOP-2 広帯域データダウンリンク 河野裕介 (国立天文台)	09:36 W24b ピクセル読み出し型 μ -PIC による X 線偏光検出器の開発 (III) 小野健一 (京都大学)
	09:36 W25b 硬 X 線偏光観測気球実験 PHENEX 計画の概要 林田 清 (大阪大学)

09:48	W26b 2次元片面ストリップ型放射線イメージセンサーの開発 澤本直之 (広島大学)	11:24	W39b NeXT 衛星搭載用透過型 CCD の開発 (5) : FI-P 型 CCD 素子, CCD-NeXT1 乾 達也 (京都大学)
09:48	W27b 天体硬 X 線偏光検出器 PoGO プロトタイプの地上試験 山本和英 (広島大学)	10月7日 (金) 午後・F 会場	
09:48	W28b X 線偏光ビームラインの開発 上條佳樹 (中央大学)	13:30	W40a NeXT 衛星搭載用透過型 CCD の開発 (6) : FI-P 型 CCD 素子, CCD-NeXT1 東樋口正邦 (大阪大学)
10:00	W29b 超低エネルギー X 線発生装置の開発 渡邊岳史 (立教大学)	13:42	W41a NeXT 衛星搭載用透過型 CCD の開発 (7) : FI-N 型 CCD 素子 松浦大介 (大阪大学)
10:12	W30a Astro-E2 搭載 X 線望遠鏡の応答関数の現状 榎原匡俊 (宇宙航空研究開発機構)	13:54	W42a NeXT 衛星搭載用透過型 CCD の開発 (8) : BI-N 型 CCD 素子 小澤 碧 (京都大学)
10:24	W31a Astro-E2 衛星の現状 : X 線 CCD 検出器 (XIS) 松本浩典 (京都大学)	14:06	W43a 赤外線天文衛星 ASTRO-F 計画の現状 村上 浩 (宇宙航空研究開発機構)
10:36	W32b Astro-E2 衛星搭載 XIS の電荷注入機能を用いた電荷転送非効率の測定とその補正 山口弘悦 (京都大学)	14:18	W44a ASTRO-F 衛星搭載遠赤外線観測装置 FIS による観測計画 川田光伸 (名古屋大学)
10:36	W33b Astro-E2 搭載 CCD カメラの低エネルギー端でのレスポンス 勝田 哲 (大阪大学)	14:30	W45a ASTRO-F/FIS 搭載 長波長バンド検出器の性能評価 土井靖生 (東京大学)
10:48	W34a Astro-E2 衛星の現状 : 精密 X 線分光装置 XRS 藤本龍一 (宇宙航空研究開発機構)	14:42	W46a ASTRO-F/FIS 搭載 短波長バンド検出器の総合性能評価 白旗麻衣 (宇宙航空研究開発機構)
11:00	W35b Astro-E2 衛星搭載 X 線カロリメータ検出器 XRS のデータ処理と応答関数 古庄多恵 (宇宙航空研究開発機構)	14:54	W47a ASTRO-F 搭載用遠赤外フーリエ分光器および FIS 分光モードの性能評価 高橋英則 (東京大学)
11:00	W36b Astro-E2 衛星搭載 X 線カロリメータ検出器 XRS のゲイン較正 太田直美 (理化学研究所)	15:06	W48a ASTRO-F 搭載近中間赤外線カメラ IRC による観測計画 松原英雄 (宇宙航空研究開発機構)
11:12	W37a Astro-E2 衛星の現状 : 硬 X 線検出器 HXD 中澤知洋 (宇宙航空研究開発機構)	15:18	W49a 軌道上での ASTRO-F 望遠鏡 - 赤外線カメラ間光学調整 金 宇征 (宇宙航空研究開発機構)
11:24	W38b 宇宙科学統合解析環境の構築と Astro-E2 解析支援 村上弘志 (宇宙航空研究開発機構)	15:30	W50b ASTRO-F/IRC による中間赤外線全天サーベイ観測計画の現状 石原大助 (東京大学)

10月8日(土) 午前・F会場		10月8日(土) 午後・F会場	
09:00	W51a GaAs 半導体を用いた遠赤外線検出器の開発及び観測計画 渡辺健太郎(宇宙航空研究開発機構)	11:12	W62a ソーラー電力セイル衛星搭載に向けた GRB 偏光検出器の開発 米徳大輔(金沢大学)
09:12	W52a 気球搭載遠赤外線干渉計(FITE)計画 芝井 広(名古屋大学)	11:24	W63a 高精度アラインメントによる X 線望遠鏡の高解像度化の研究 II 大熊 哲(東京都立大学)
09:24	W53a PLANET-C/VCO 搭載 赤外線検出器の開発 II 上野宗孝(東京大学)	10月8日(土) 午後・F会場	
09:36	W54a 国際宇宙ステーション搭載全天 X 線監視装置 MAXI/GSC フライトモデルの性能評価 藤井佑一(理化学研究所/日本大学)	13:30	W64a TES 型マイクロカロリメータを用いた地上核融合プラズマ計測 篠崎慶亮(首都大学東京)
09:48	W55a 全天 X 線監視装置(MAXI)の地上処理システムの現状 小浜光洋(理化学研究所)	13:42	W65a SRON 製、SII 製 TES 型マイクロカロリメータの構造と性能の比較 山川善之(首都大学東京)
10:00	W56a 宇宙 γ 線衛星 GLAST の概要とサイエンス 水野恒史(広島大学)	13:54	W66a Monte-Carlo シミュレーションを用いた SD-CCD の最適化 田和憲明(大阪大学)
10:12	W57a 宇宙 γ 線衛星 GLAST フライトモデルの地上較正試験 河本卓也(広島大学)	14:06	W67a ガス電子増幅フォイルと CMOS センサーを用いた X 線偏光計の開発 玉川 徹(理化学研究所)
10:24	W58a アバランシェフォトダイオードと板状 BGO を用いたアクティブシールドの開発 浅野哲也(広島大学)	14:18	W68a ピクセル読み出し型 μ -PIC による X 線偏光検出器の開発(IV) 内山秀樹(京都大学)
10:36	W59a 硬 X 線、ガンマ線観測用 Si/CdTe 半導体コンプトン望遠鏡の開発 II 大貫宏祐 (東京大学/宇宙航空研究開発機構)	14:30	W69a CCD 出力信号処理回路におけるリセットパルスの除去 穴田貴康(宇宙航空研究開発機構)
10:48	W60a カーボン・ナノチューブを用いる放射線検出器の開発 小谷太郎(東京工業大学)	14:42	W70a X 線・ガンマ線観測のための半導体検出器用アナログ ASIC の低雑音化 田村健一(宇宙航空研究開発機構)
11:00	W61a 大学小型衛星 Cute-1.7 フライトモデルの開発現状 古徳純一(東京工業大学)	14:54	W71a VLSI を用いた APD 多チャンネル読み出しシステムの開発 齊藤孝男(東京工業大学)
		15:06	W72a スペース重力波アンテナ DECIGO 計画(3) 川村静児(国立天文台)

Y. 天文教育・その他

10月6日(木) 午前・G会場			
10:00	Y01a すばる望遠鏡サイトにおけるアウトリーチ活動 林 左絵子 (国立天文台)	11:00	Y12b ケプラー「世界のハーモニー」のリアライゼーションの試み 橋田華絵 (東海大学)
10:12	Y02a 星座カメラ i-CAN：地球の裏側から夜空を！第2ステージ 佐藤毅彦 (熊本大学)		Y13c 裸眼立体視によるリアルタイム宇宙天気シミュレーターの3次元可視化システム 田 光江 (核融合科学研究所)
10:24	Y03a 文理分け教育再考－高校生・大学生へのアンケート調査結果を中心に－ 縣 秀彦 (国立天文台)	11:12	Y14b ASTRO-F 全天サーベイ観測データ管理システムの開発 馬場 肇 (早稲田大学)
10:36	Y04a きみっしょん参加者の追跡調査2－参加型体験学習の教育的効果－ 斎藤靖之 (東京大学)	11:12	Y15b ASTRO-F 観測スケジュールリング：運用シミュレーション 白井文彦 (宇宙航空研究開発機構)
10:48	Y05b 国立天文台大学院生による天文学講座「天塾」ビデオ・オン・デマンド提供開始 内藤誠一郎 (東京大学)		Y16c X線天文学データ解析初心者用マニュアルと解析環境の試作 宇野伸一郎 (日本福祉大学)
10:48	Y06b パラボラアンテナを使った反射望遠鏡の原理を説明する展示教材 増田盛治 (国立天文台)		Y17c SETI を目的としたM型星・赤外超過星・META 領域の電波・光学観測 藤下光身 (九州東海大学)
10:48	Y07b 月は球形か、画像解析で月の満ち欠けを理解する 大西浩次 (長野高専)		Y18c Excess power method を基礎とした非周期パルス型 ETI 信号の検出方法の開発 端山和大 (国立天文台)
11:00	Y08b 金星や火星の満ち欠けの画像から距離を求める 大西浩次 (長野高専)		
	Y09c 天文普及におけるプラネタリウムの活用法 栗野諭美 (岡山天文博物館)		
	Y10c 金星の太陽面通過観測画像を用いた1天文単位を求める教材開発 松本直記 (慶應義塾高校)		
11:00	Y11b 3Dアニメーションを使った太陽系天体の軌道運動の可視化 西山広太 (日本スペースガード協会)		

2005年8月20日発行

年会実行委員会

委員長	百瀬宗武	(茨城大学)
委員	河野孝太郎	(東京大学)
	清水敏文	(国立天文台)
	鈴木知治	(東京大学)
	田村隆幸	(宇宙航空研究開発機構)
	中本泰史	(筑波大学)
	根來均	(日本大学)
	本原顕太郎	(東京大学)
	山村一誠	(宇宙航空研究開発機構)

年会開催地理事

馬場直志 (北海道大学)